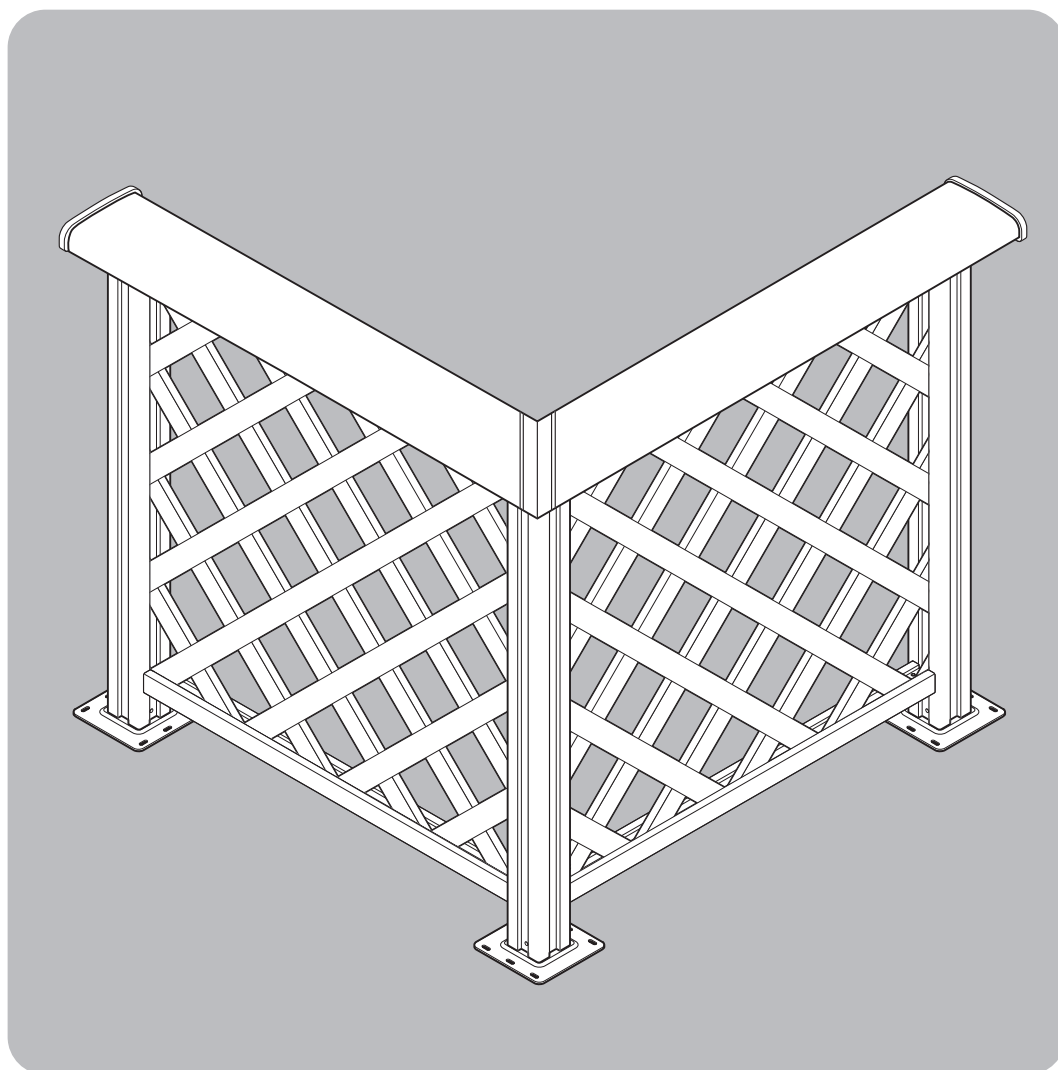


リコステージⅡ デッキフェンス

取付け説明書



取付けにあたって

この説明書では、お客様の安全と製品を正しく施工していただくための、取付けについて、重要な内容を記載しております。

ご留意いただき、施工してください。

取付けされる方へのお願い

●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●同梱されている取扱い説明書は、必ずお施主様へお渡しください。

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

※製品の破損および落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

■施工前のご注意

●設置条件

- ・本製品は、隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手摺等としては使用しないでください。
- ・本製品は、一般住宅の地上階、またはリコステージⅡに取付ける商品です。それ以外の場所へは取付けないでください。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接あたらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- ・施工プランと必要部材がそろっているか確認してください。
- ・施工場所に寸法的に正しく収まるか事前に十分確認をしてください。

●施工前の調査について

- ・施工前に地下埋設物（給水管など）に影響を及ぼさないか調査を行ってください。

●製品の保管について

- ・本製品は、木粉入り高密度樹脂製のため、熱変形することがあります。取扱には十分注意してください。
- ・立てかけ保管しないで、平らな場所に保管してください。
- ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
- ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- ・給湯器、暖房機などの熱排気が製品に直接当たらないようにしてください。

■施工上のご注意

●基礎について

- ・コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強力アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。使用する場合は水洗いしたものを使用するか、非塩素や非アルカリ性の混和剤を使用してください。
- ・養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間は重たいものを乗せたり、振動を与えないように指示してください。
- ・支柱の水抜き穴は、モルタル等でふさがらないでください。

●組立施工について

- ・みだりに改造、変更をしないでください。

▲ 注 意

●部材の固定について

- ・組立てねじ・ボルトは必ず当社指定のものを指定の本数使用してください。また使用中緩まないように締め付けてください。

※製品腐食のおそれがありますので下記事項をお守りください。

●絶縁処理について

- ・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは絶縁処理をしてください。

●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{kgf} / \text{cm}$ }のトルクで止めた後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。

■組立て・施工のお願い

- 組立て・施工は専門業者が行ってください。

- 製品の施工については、必ず取付け説明書に従ってください。

- 水平、垂直は水準器などで正確に出してください。

- 当社指定の付属部品以外は取付けしないでください。

●人工木材の処理について

- ・人工木材は補強材、ねじを分解して産業廃棄物として処理してください。

●施工中についた、汚れや傷について

- ・モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性でシミやムラなどの外観不良の原因となります。施工中に付着した場合は速やかに拭き取ってください。

- ・施工中についた表面の汚れやシミは、引渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤をうすめたものを使用した場合はよく水洗いしてください。

- ・施工中についた表面すり傷は、引渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って行ってください。

- ・市販の研磨紙を利用する際は60番の研磨紙を用いてください。中性洗剤をうすめたものを使用した場合はよく水洗いしてください。

梱包明細表

【1】 主柱セット・ベース仕様

名 称	略 図	員 数	
		T-10以下	T-12以下
笠木用主柱 (ベース仕様)		1	1
柱下側スリーブ材		1	1
笠木取付金具		2	2
φ4×20サラタッピン3種		4	6
φ4×16サラタッピン3種		4	4
φ5×40ナベタッピン2種 G=5		4	4
φ4×19ナベピアスネジ		4	4

【2】 アルミ主柱セット・ベース仕様

名 称	略 図	員 数
笠木用アルミ主柱 (ベース仕様)		1
笠木取付金具		2
クッション材		2
φ4×16サラタッピン3種 D=6		4
φ5×40ナベタッピン2種 G=5		4
φ4×19ナベピアスネジ		4

【3】 主柱セット・埋込仕様

名 称	略 図	員 数
笠木用埋込主柱		1
笠木取付金具		2
φ4×16サラタッピン3種		4
φ4×19ナベピアスネジ		4

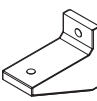

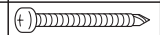
【4】 ベースプレートセット

名 称	略 図	員 数		
		大引き 固定用	床板 補強材 固定用	床板 固定用
ベースプレート		1	1	1
フェンスー 大引き固定アングル		2	-	-
フェンス固定アングル		-	-	2
φ4×13ナベピアスネジ		4	-	-
φ5×60ナベピアスネジ		6	6	5
M5×60トラス小ネジ		-	-	2

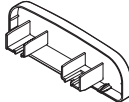

【5】 笠木・下棧セット

名 称	略 図	員 数			
		W750		W1200	
		1スパン	2スパン	1スパン	2スパン
笠木		1	1	1	1
下棧		1	2	1	2
下棧受け部品		2	4	2	4
ゲージプレートD		1	1	1	1
修正用研磨紙A		1	1	1	1
クッション材		4	8	6	12
φ5×25ナベタッピン3種		2	4	2	4
φ4×25ナベピアスネジ		4	8	4	8

【6】 切詰用笠木下棧取付金具セット

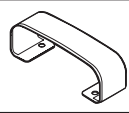

名 称	略 図	員 数
下棧受け部品		2
φ5×25ナベタッピン3種		2
φ4×25ナベピアスネジ		4

【7】 笠木端部キャップセット

名 称	略 図	員 数
笠木端部キャップ		2
φ4×16サラピアスネジ		4
取扱い説明書〈MAL-257〉	—	1
取付け説明書〈MAL-245B〉	—	1

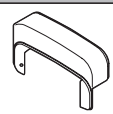


【8】 笠木中間部カバーセット

TOEX

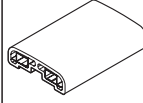
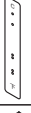

名 称	略 図	員 数
笠木中間部カバー		1
φ4×12ナベタッピン1種		2

【9】 笠木90° コーナー部カバーセット

TOEX

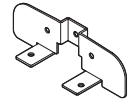
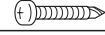

名 称	略 図	員 数
笠木コーナーカバー		1
φ4×12ナベタッピン1種		1
φ4×16サラタッピン1種		1

【10】 笠木セット


名 称	略 図	員 数			
		W750		W1200	
		1スパン	2スパン	1スパン	2スパン
笠木		1	1	1	1
ゲージプレートC		1	1	1	1
修正用研磨紙A		1	1	1	1

【11】 段違い笠木取付金具セット

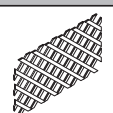
TOEX

名 称	略 図	員 数
段違い笠木取付金具		1
φ4×19ナベピアスネジ		1
φ3.8×20ナベ特殊ネジ		2

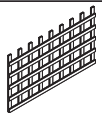

【12】 ラチスパネルセット (密目タイプ)

名 称	略 図	員 数	
		W750	W1200
ラチスパネル		1	1

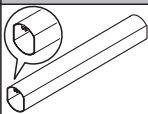
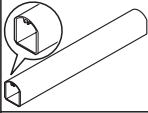
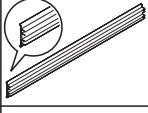


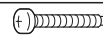
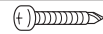

【13】 ラチスパネルセット (粗目タイプ)

名 称	略 図	員 数	
		W750	W1200
ラチスパネル		1	1

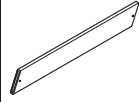
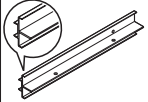
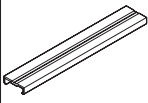

【14】 井桁格子パネルセット

名 称	略 図	員 数			
		W750		W1200	
		T-08	T-10	T-08 T-12	T-06 T-10
井桁格子パネル		1	1	1	1
格子パネル振れ止め		2	-	2	-

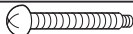








【15】 横ビームパネルセット

名 称	略 図	員 数	
		W750 W1200	W750 W1200
		T-08	T-10
ビーム棧		2	3
下段用ビーム棧		1	1
ビーム棧枠材		2	2
ビーム棧枠材受け金具		2	2
クッション材		2	2
φ4×20ナベタッピン2種 G=5		6	8
φ4×19ナベピアスネジ		2	2
φ4×30ナベピアスネジ		4	4

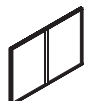
【16】 クロスパネルセット

名 称	略 図	員 数
		W1200
クロス棧		2
クロス棧枠材		2
下棧溝隠し材		1
クッション材		2

【16】 クロスパネルセットつづき

名 称	略 図	員 数
		W1200
φ5×30トラスタッピン3種		4
φ4×30サラピラス D=6		4
M4×45トラス小ネジ		1
M5六角袋ナット		4
M5平座金		8
M5バネ座金		4
M4六角袋ナット		1
M4平座金		2
M4バネ座金		1

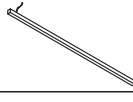



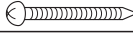
【17】 プライバシーパネルセット

名 称	略 図	員 数
		W1200
ポリカパネル		1

【18】 LED照明ユニット

※本製品はTOEX商品で取付け可能です。

TOEX

名 称	略 図	員数
LED照明ユニット本体		1
取付金具		2
φ4×13ナベピアスネジ		2
φ4×50トラスタッピンネジ 1種		2
φ4×50トラスタッピンネジ 1種		2
取付け説明書〈Z217〉	-	1
取扱い説明書〈UC015〉	-	1

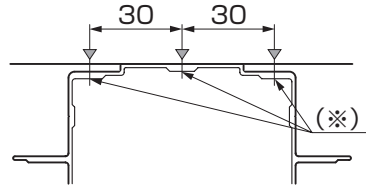
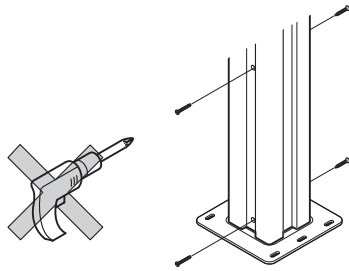
※生地色は、配線カバーがシャイングレーの場合に使用します。

※ブロンズ色は、配線カバーがマイルドブラック、オータムブラウンの場合に使用します。

基本寸法・各部名称・取付け順序

1

施工時の重要確認事項



ネジ取付可能位置 ▼

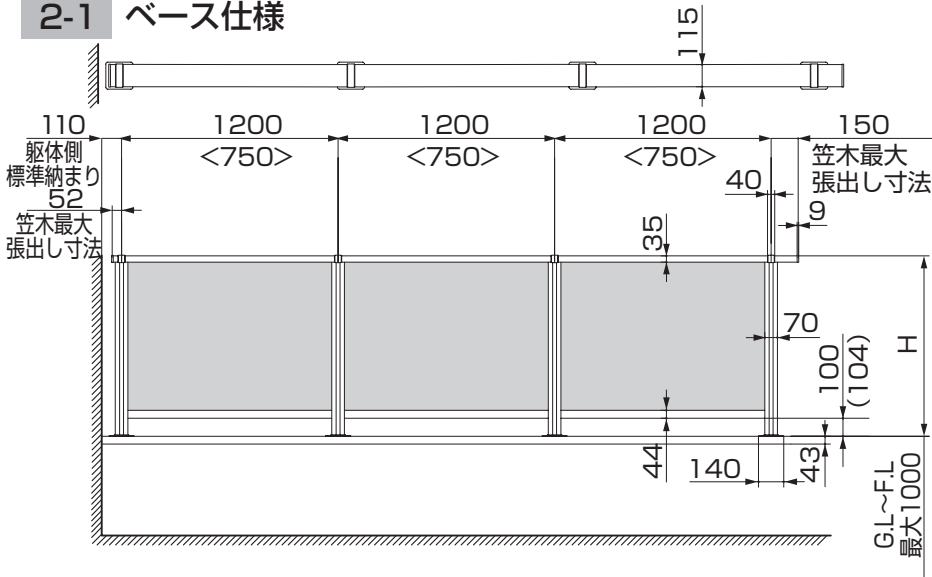
※人工木の取付には電動ドライバーを使用しないでください。人工木はネジを締めこみすぎると割れるおそれがありますので注意してください。

※大引きにネジを取り付ける際、図の位置3ヶ所(*)以外に取り付けしないでください。

2

基本寸法図

2-1 ベース仕様



※()はクロスパネルの場合です。
※< >はパネルW750の場合です。

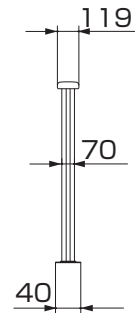
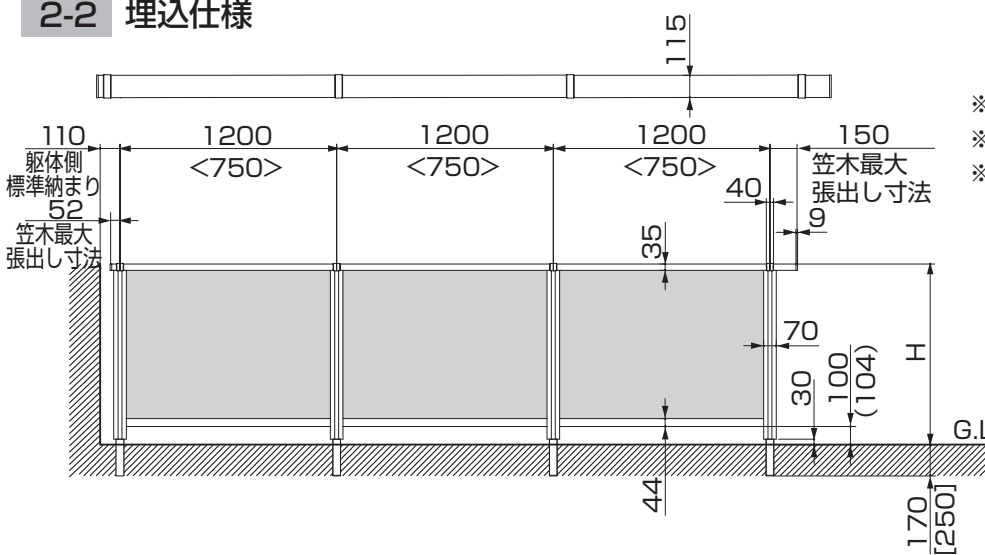


表2-1

呼称	H寸法
T-6	600
T-8	800
T-10	1000
T-12	1200

2-2 埋込仕様



※()はクロスパネルの場合です。
※[]はT-12の場合です。
※< >はパネルW750の場合です。

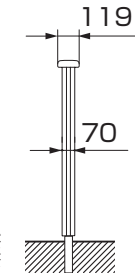


表2-2

呼称	H寸法
T-6	600
T-8	800
T-10	1000
T-12	1200

3 柱の準備

3-1 笠木用主柱（ベース仕様）の場合

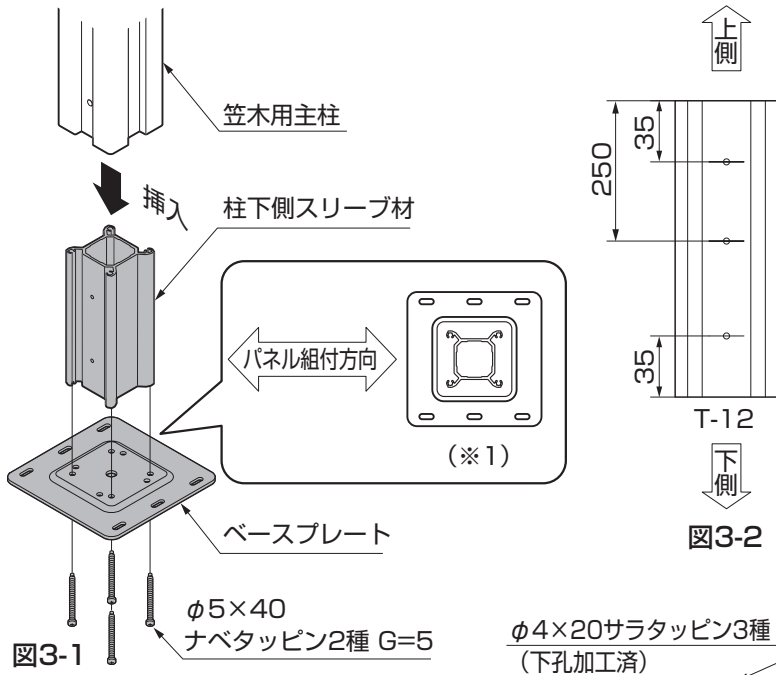
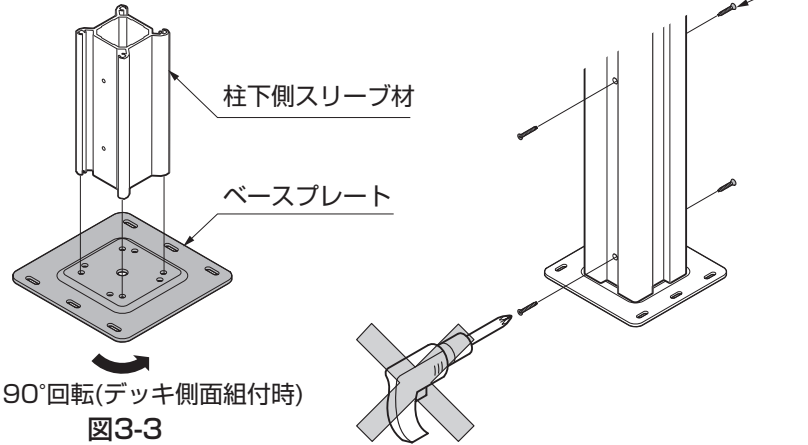


図3-1

図3-2

※柱には上下の区別があります。
 ※T-12柱スリーブ材には上下の区別があります。(図3-2参照)

- ①ベースプレートの裏側から柱下側スリーブ材を、φ5×40ナベタッピン2種 G=5で4ヶ所ベースプレートの向きに注意して固定してください。(※1)
- ②笠木用主柱を、ベースプレートに組付けた柱下側スリーブ材へ挿入してください。(図3-1参照)
- ③笠木用主柱の孔位置からφ4×20サラタッピン3種で、笠木用主柱と柱下側スリーブ材を固定してください。
- ④デッキ側面に柱を組付ける場合、ベースプレートを90°回転して固定してください。(図3-3参照)



90°回転(デッキ側面組付時)
 図3-3

※笠木用主柱の取付には電動ドライバーを使用しないでください。
 ※人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。

3-2 アルミ主柱（ベース仕様）の場合

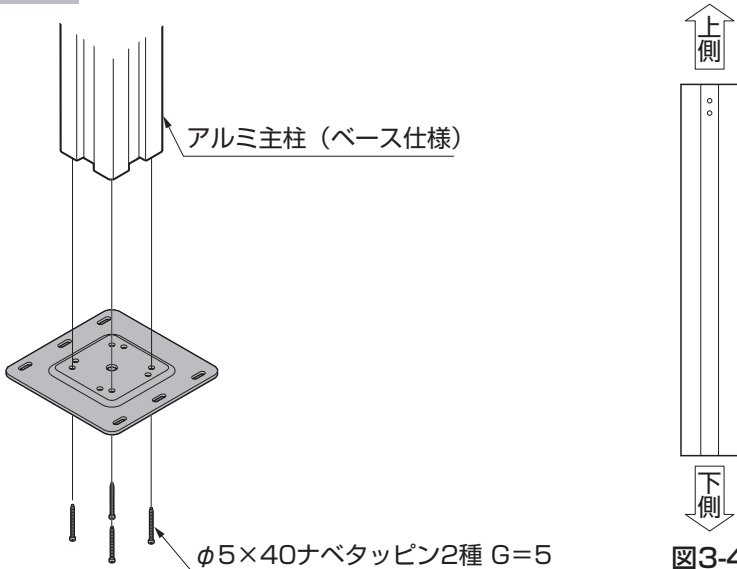


図3-4

※柱には上下の区別があります。(図3-4参照)

- ①ベースプレートの裏側から笠木用アルミ主柱(ベース仕様)をφ5×40ナベタッピン2種 G=5で、4ヶ所固定してください。

4

柱の組付け

4-1 ベース柱

(1) 正面床板固定の場合

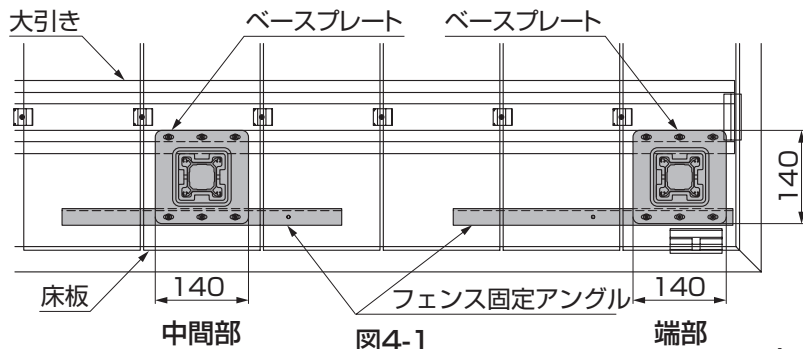
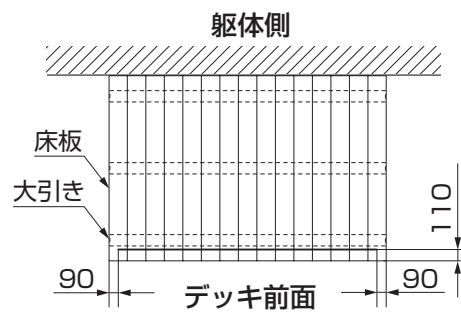


図4-1



柱設置可能範囲（柱芯寸法）
図4-2

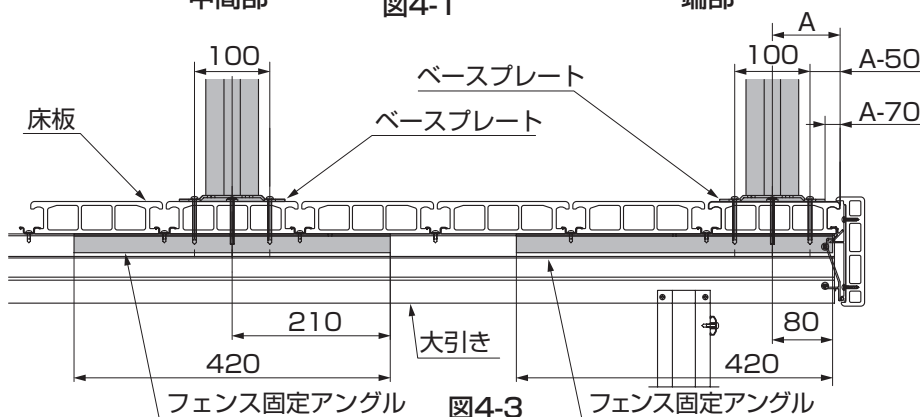


図4-3

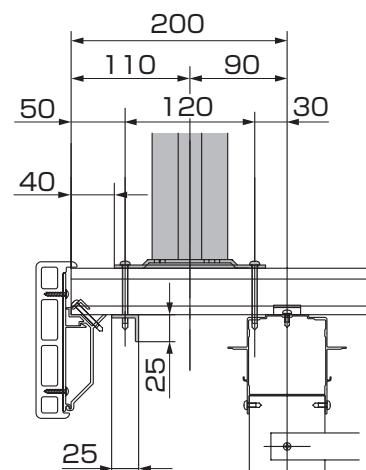
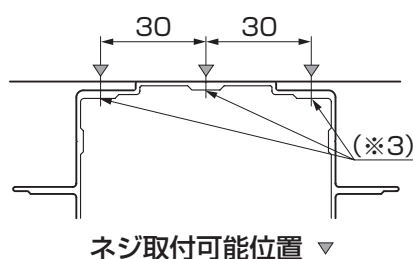
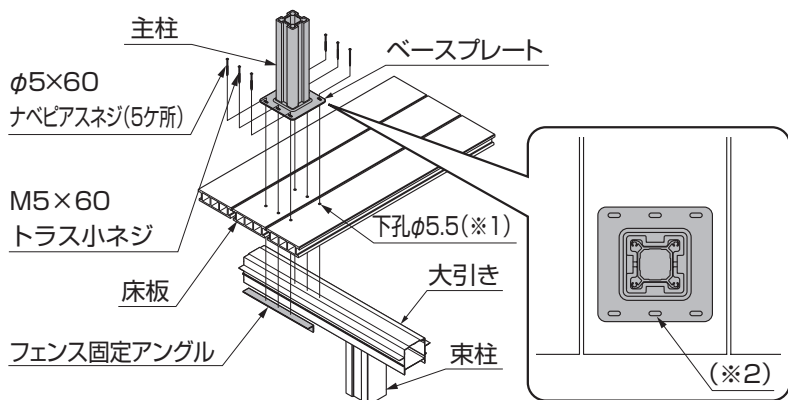


図4-4



ネジ取付可能位置 ▽

① 柱の固定位置を決めてください。

※デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図4-1、図4-2、図4-3、図4-4を参照して取付けてください。

※図4-3のA寸法値の最小値は90mmです。

※図4-3のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

② ネジ位置をマーキングしてください。

③ マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。（※1）

▲ 注意

※大引きにネジを取付ける際、図の位置3ヶ所（※3）以外に取付けないでください。

④ ベースプレートをφ5×60ナベピアスネジ（5ヶ所）で、床板の下の大引きまで3ヶ所取付けてください。

⑤ デッキ前面の中心の下孔とフェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートをM5×60トラス小ネジで取付けてください。（※2）

⑥ φ5×60ナベピアスネジ（5ヶ所）で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて2ヶ所取付けてください。

(2) 正面大引き固定の場合

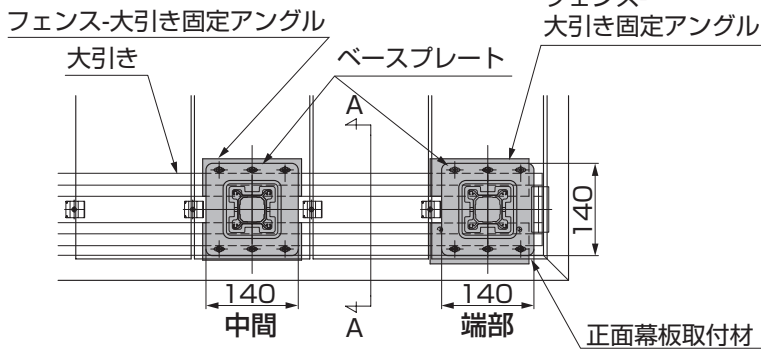


図4-5

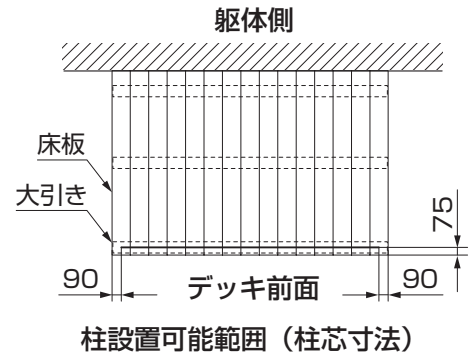


図4-6

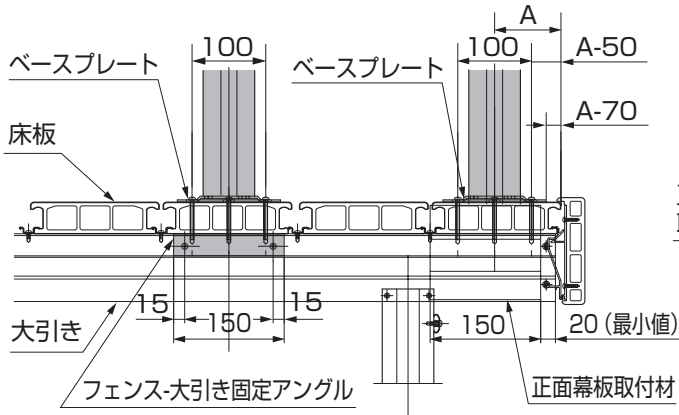


図4-7

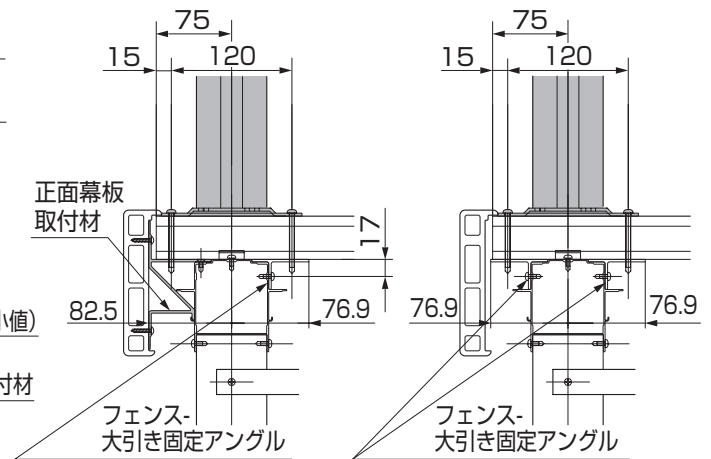
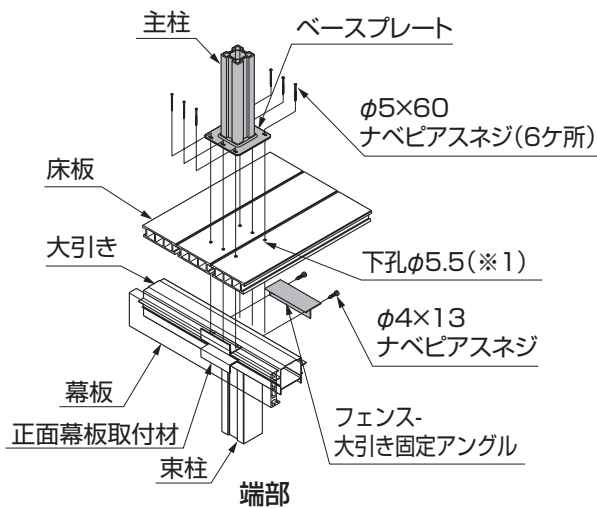


図4-8 A-A矢視図



中間

①柱の固定位置を決めてください。

- ※デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図4-5、図4-6、図4-7、図4-8を参照して取付けてください。
- ※図4-7のA寸法値の最小値は90mmです。
- ※図4-7のA寸法の最大値は、フェンス-大引き固定アンクルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

- ②ネジ位置をマーキングしてください。
- ③マーキングした床板に、φ5.5の下孔をあけてください。(※1)
- ④大引きにフェンス-大引き固定アンクルを、φ4×13ナベピアスネジで取付けてください。
- ⑤ベースプレートをφ5×60ナベピアスネジ(6ヶ所)で、床板の下の幕板固定金具またはフェンス-大引き固定アンクルまで取付けてください。

(3) 側面床板固定の場合

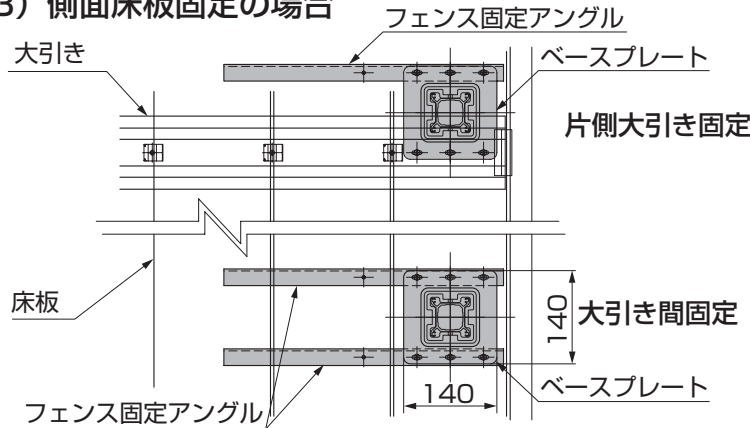


図4-9

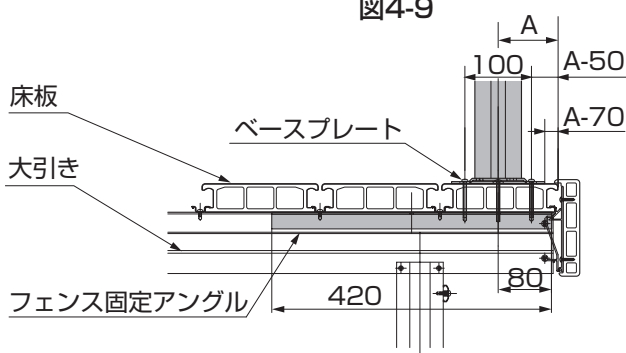


図4-11

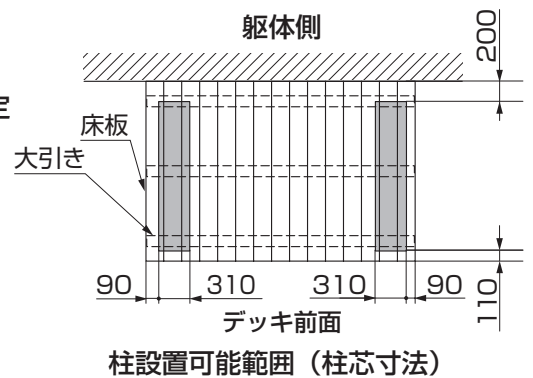


図4-10

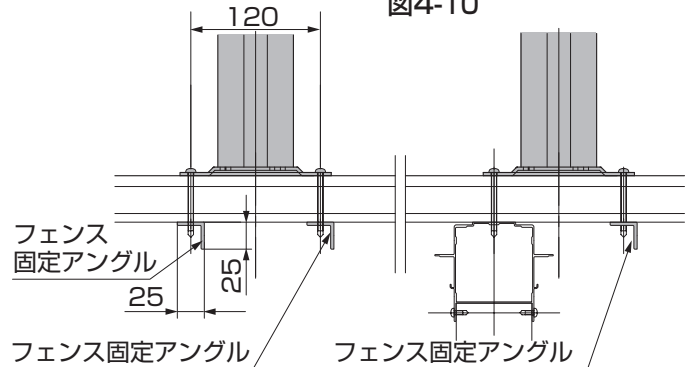
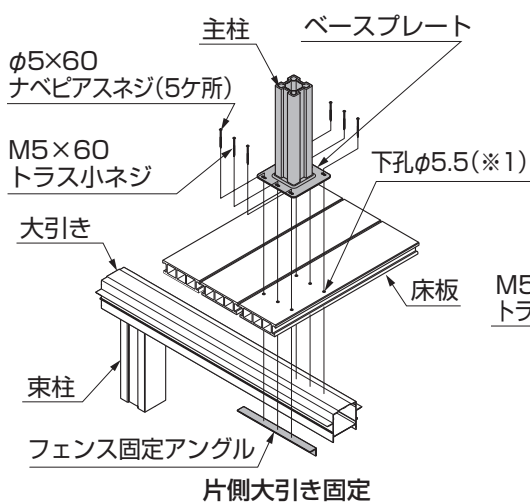
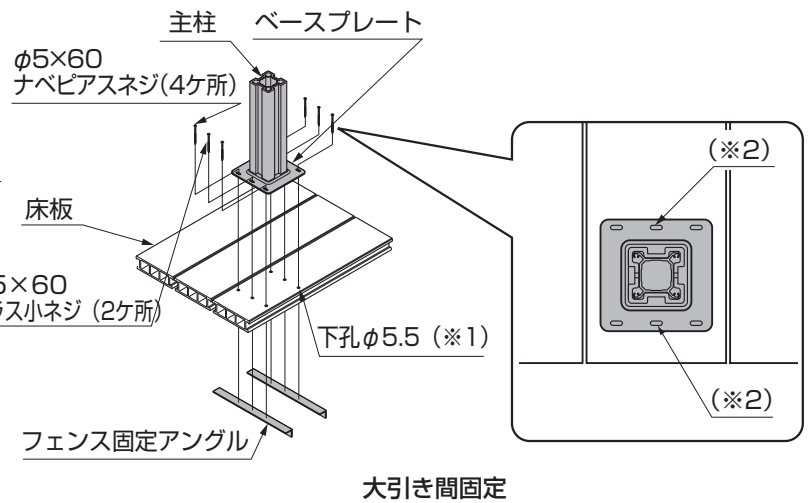


図4-12



片側大引き固定



大引き間固定

①柱の固定位置を決めてください。

※片側を大引きに固定して立てる場合、大引き間に立てる場合には、図4-9、図4-10、図4-11、図4-12を参照して取付けてください。

※図4-11のA寸法値の最小値は90mmです。

※図4-11のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④片側大引き固定の場合は、「4-1 ベース柱(1)正面床板固定の場合」の端部への取付けを参照してください。

⑤大引き間固定の場合、デッキの中心の下孔と、フェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートをM5×60トラス小ネジ(2ヶ所)で2ヶ所取付けてください。(※2)

⑥ベースプレートをφ5×60ナベピラスネジ(5ヶ所)で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて4ヶ所取付けてください。

(4) 側面床板補強材固定の場合

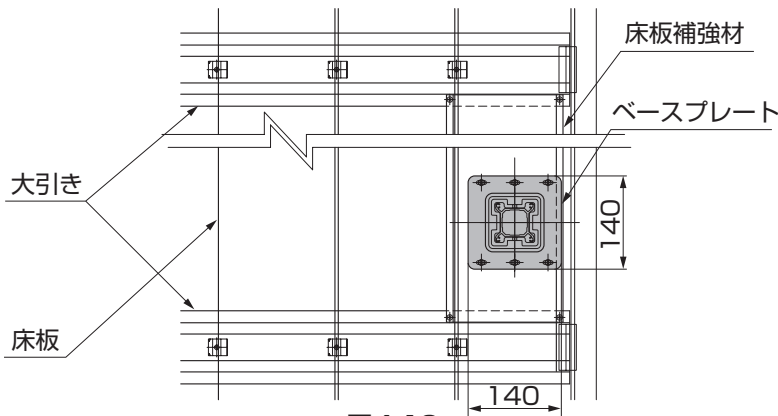


図4-13

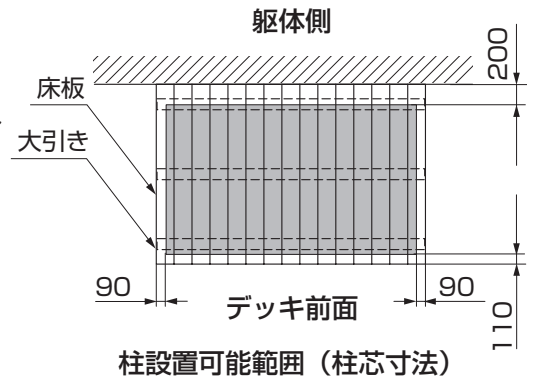


図4-14

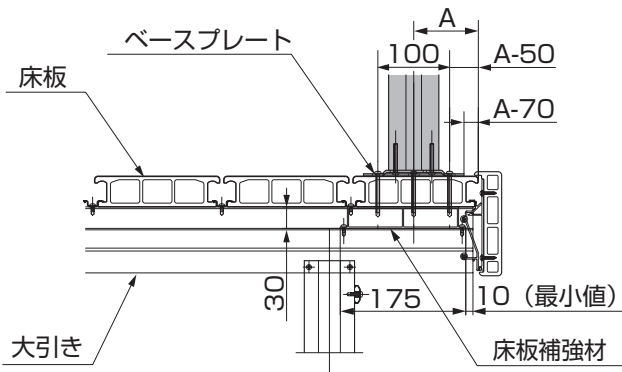


図4-15

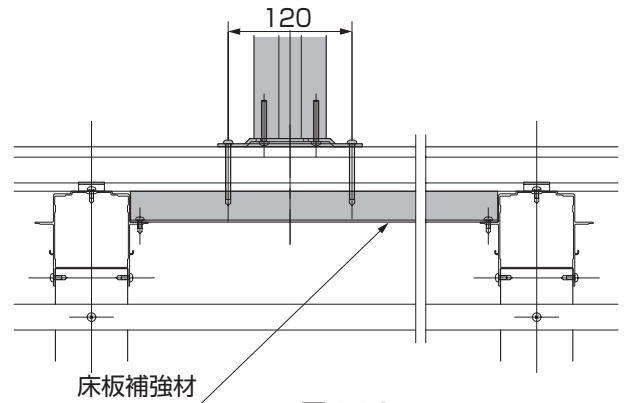
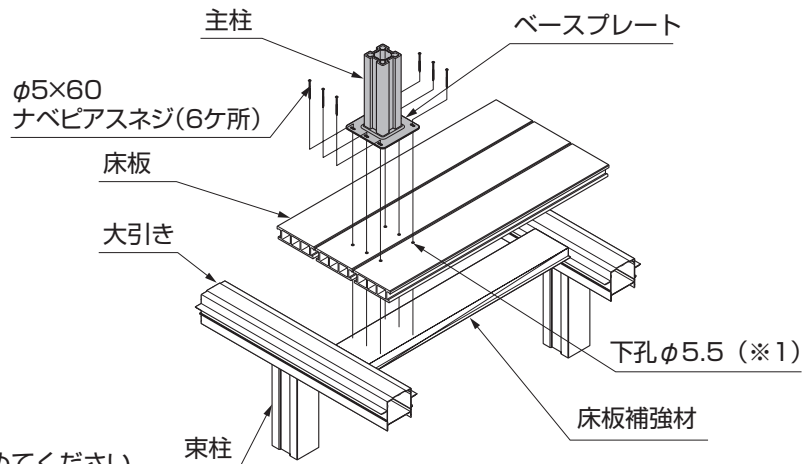


図4-16



①柱の固定位置を決めてください。

※デッキ施工前に補強材を取り付けてください。

※デッキに図4-13、図4-14、図4-15、図4-16を参照して取付けてください。

※図4-15のA寸法値の最小値は90mmです。

※図4-15のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

※柱を立てる床板の下に床板補強材があることを確認してください。

②ネジ位置をマーキングしてください。

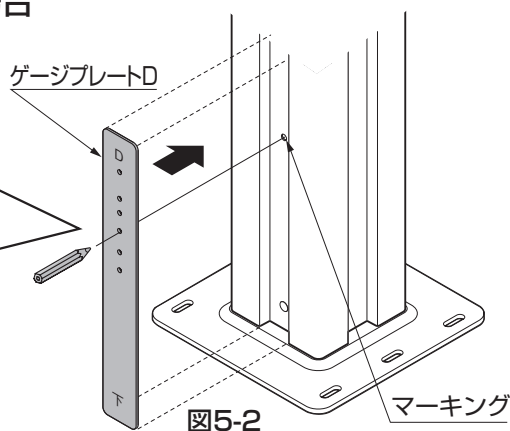
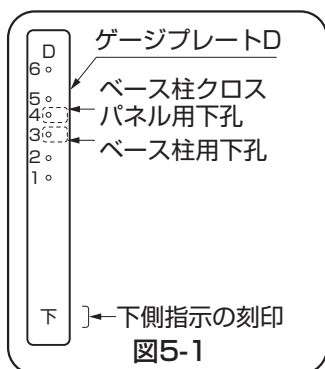
③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④ベースプレートをφ5×60ナベピラスネジ(6ヶ所)で、床板の下の床板補強材まで取付けてください。

5 下棧受け部品の組付け

- 下棧の組付位置は、所定の高さから変更できません。
- 横ビームパネルには使用しない作業です。

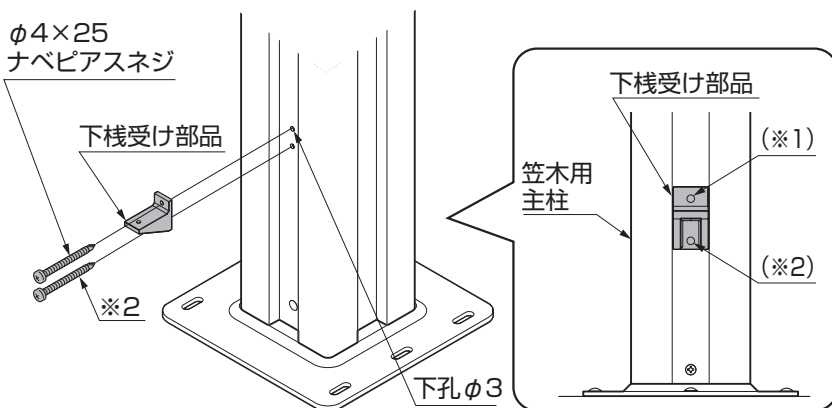
5-1 ベース仕様の場合



※ゲージプレートには上下があります。「下」と刻印している側を下に合わせてください。(図5-1参照)

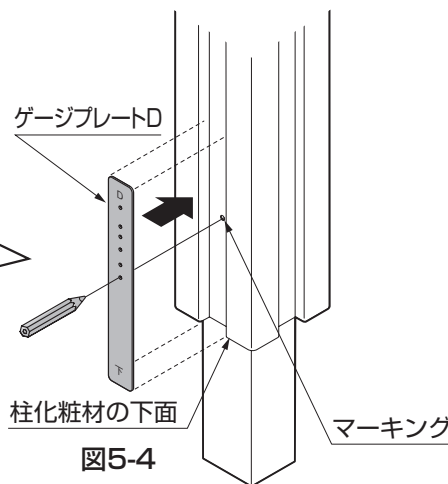
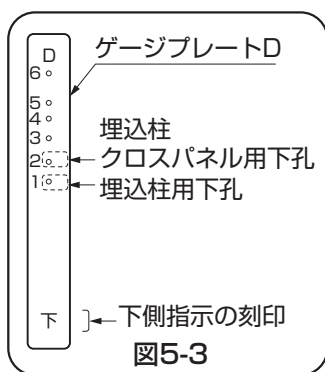
- ①パネルを入れる側の面の柱の底面に、ゲージプレートの下面を合わせ、印をつけてください。(図5-2参照)

※クロスパネルは4の孔を使用してください。それ以外のパネルは3の孔を使用してください。(図5-1参照)



- ②印をつけた支柱溝部のネジ位置に、φ3の下孔をあけてください。
- ③下棧受け部品の上部の孔(※1)と、支柱溝部にあけた孔を合わせて、φ4×25ナベピアスネジで下棧受け部品を固定してください。
- ④下部の孔も同様に、φ3の下孔をあけてφ4×25ナベピアスネジで固定してください。(※2)

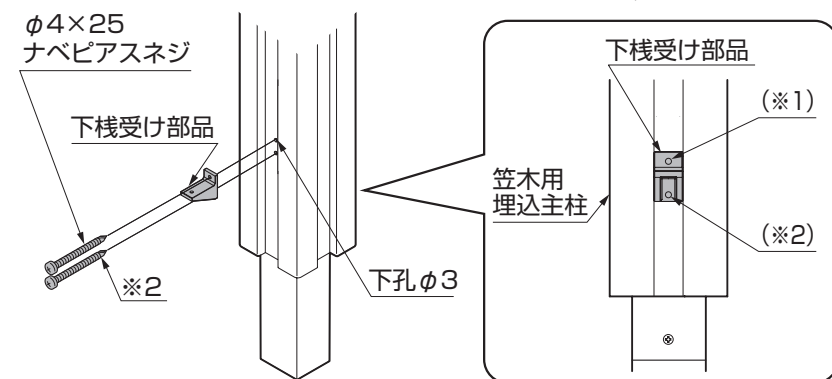
5-2 埋込仕様の場合



※ゲージプレートには上下があります。「下」と刻印している側を下に合わせてください。(図5-3参照)

- ①パネルを入れる側の面の柱の底面に、ゲージプレートの下面を合わせ、印をつけてください。(図5-4参照)

※クロスパネルは2の孔を使用してください。それ以外のパネルは1の孔を使用してください。(図5-3参照)



- ②印をつけた支柱溝部のネジ位置に、φ3の下孔をあけてください。
- ③下棧受け部品の上部の孔(※1)と、支柱溝部にあけた孔を合わせて、φ4×25ナベピアスネジで下棧受け部品を固定してください。
- ④下部の孔も同様に、φ3の下孔をあけてφ4×25ナベピアスネジで固定してください。(※2)

6 下棧の取付け

●横ビームパネルには使用しない作業です。

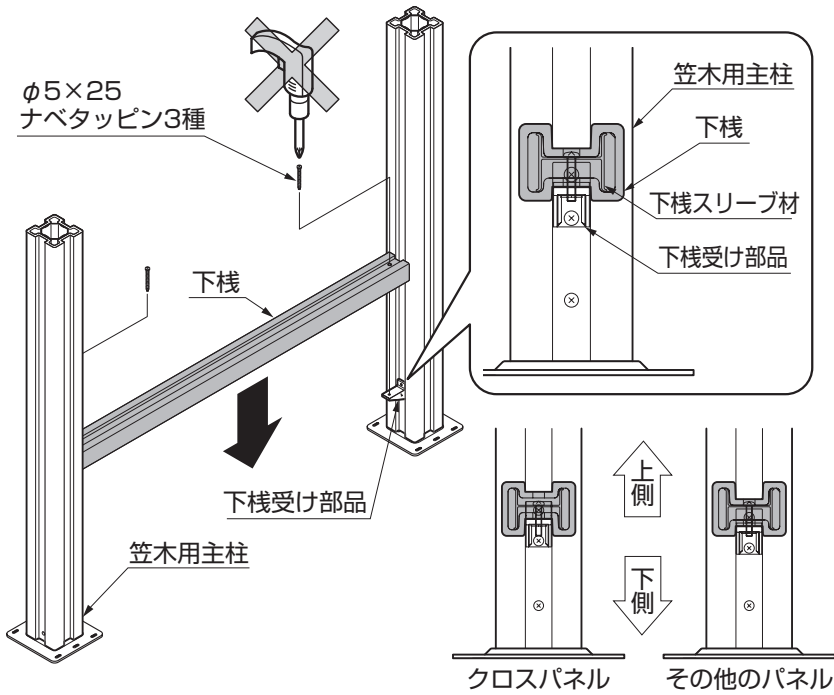


図6-1

①下棧の溝に下棧受け部品を挿入し、 $\phi 5 \times 25$ ナベタッピン3種で固定してください。

※下棧はパネルの種類によって上下が異なります。

※クロスパネルは溝の深い方を下にしてください。その際、下棧スリーブ材の向きを反転させてください。それ以外のパネルは溝の深い方を上にしてください。(図6-1参照)

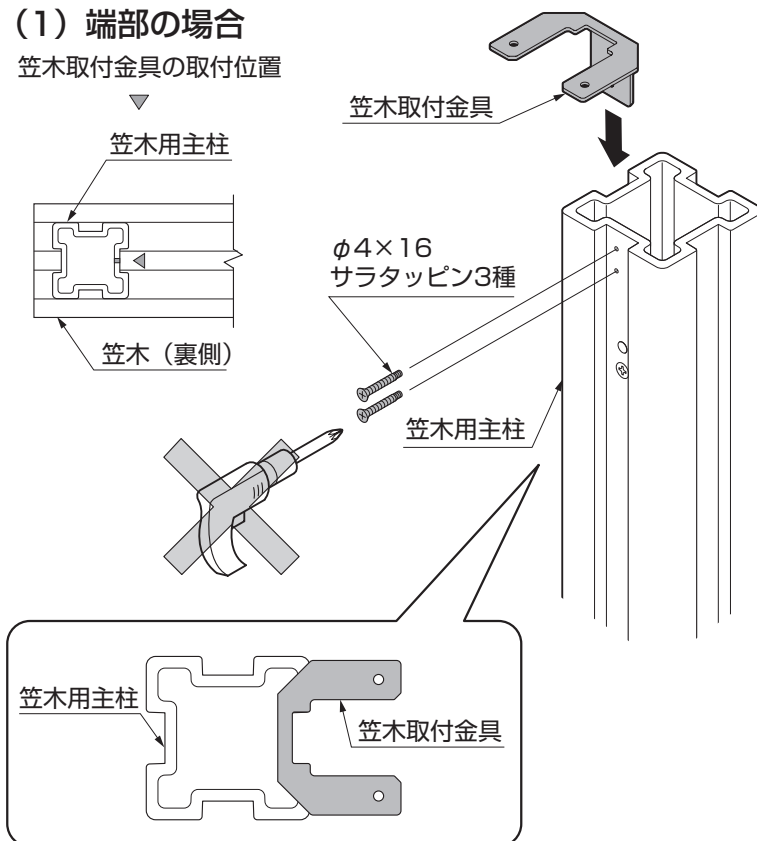
※下棧の取付けには電動ドライバーを使用しないでください。

7 笠木取付金具の取付け

7-1 笠木取付金具の孔加工

(1) 端部の場合

笠木取付金具の取付位置



①笠木用主柱に笠木取付金具を、 $\phi 4 \times 16$ サラタッピン3種で固定してください。

※笠木取付金具の取付けは電動ドライバーを使用しないでください。

※人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。

(2) 中間の場合

笠木取付金具の取付位置

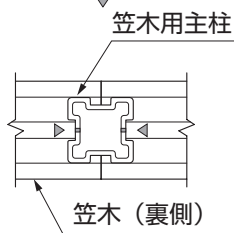


図7-1

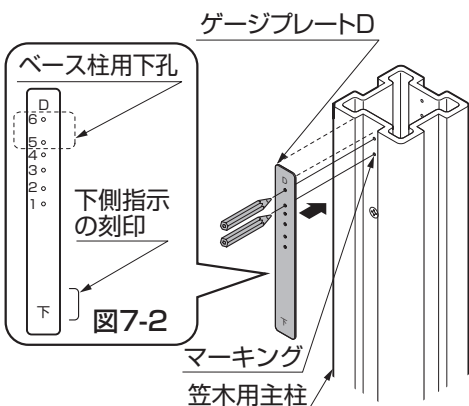
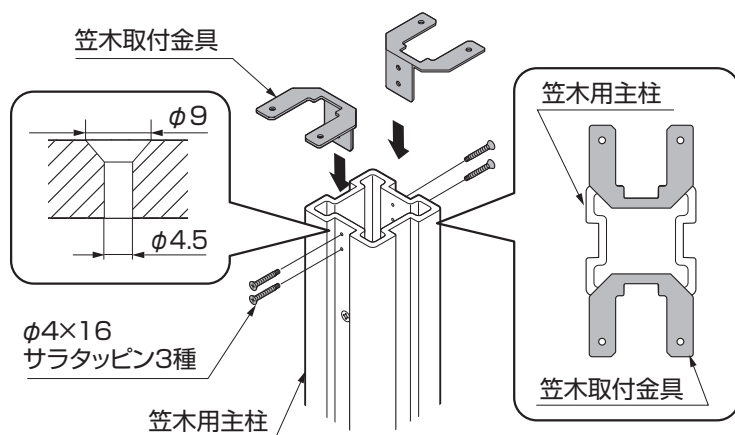


図7-2



笠木用主柱

- ① 笠木取付金具の取付け位置は、図7-1を参照して下孔をあけてください。

※ゲージプレートDには上下があります。「下」と刻印している側を下にしてください。(図7-2参照)

- ② 笠木用主柱の上面とゲージプレートDの上面を合わせて5、6の孔に印をつけてください。
- ③ 印をつけた支柱溝部のネジ位置に、φ4.5の下孔とφ9サラ取り加工をしてください。
- ④ 笠木用主柱に笠木取付金具を、φ4×16サラタップピン3種で固定してください。

(3) コーナーの場合

笠木取付金具の取付位置

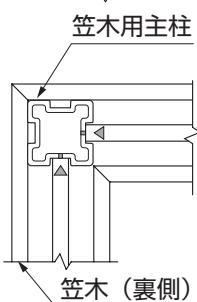


図7-3

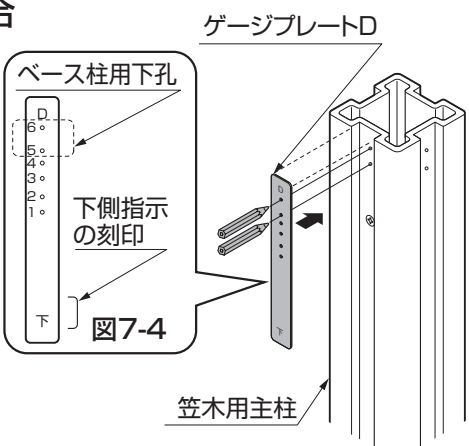
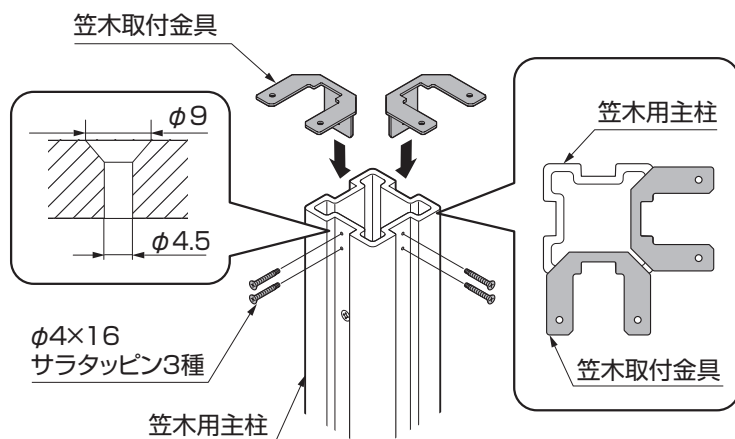


図7-4



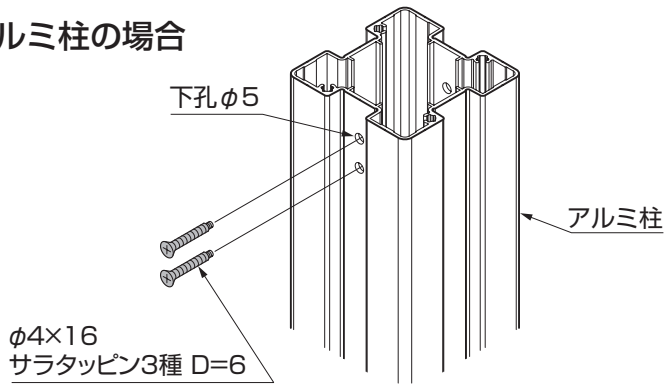
笠木用主柱

- ① 笠木取付金具の取付け位置は、図7-3を参照して下孔をあけてください。

※ゲージプレートDには上下があります。「下」と刻印している側を下にしてください。(図7-4参照)

- ② 笠木用主柱の上面とゲージプレートDの上面を合わせて5、6の孔に印をつけてください。
- ③ 印をつけた支柱溝部のネジ位置に、φ4.5の下孔とφ9サラ取り加工をしてください。
- ④ 笠木用主柱に笠木取付金具を、φ4×16サラタップピン3種で固定してください。

7-2 アルミ柱の場合



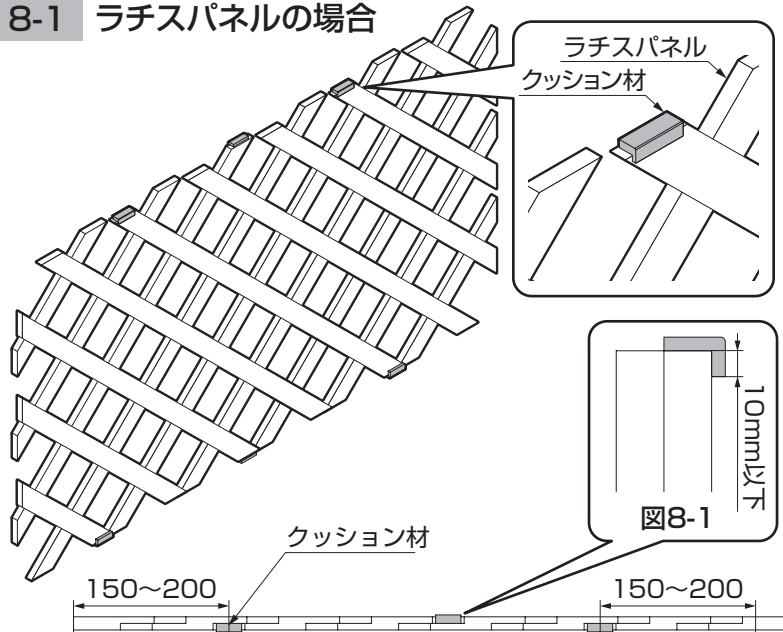
- ①アルミ柱に笠木取付金具用の下孔をあける場合、φ5の下孔をあけてφ4×16サラタツピン3種 D=6で固定してください。

8

クッション材の取付け

●ラチスパネルと井桁格子の場合の作業です。

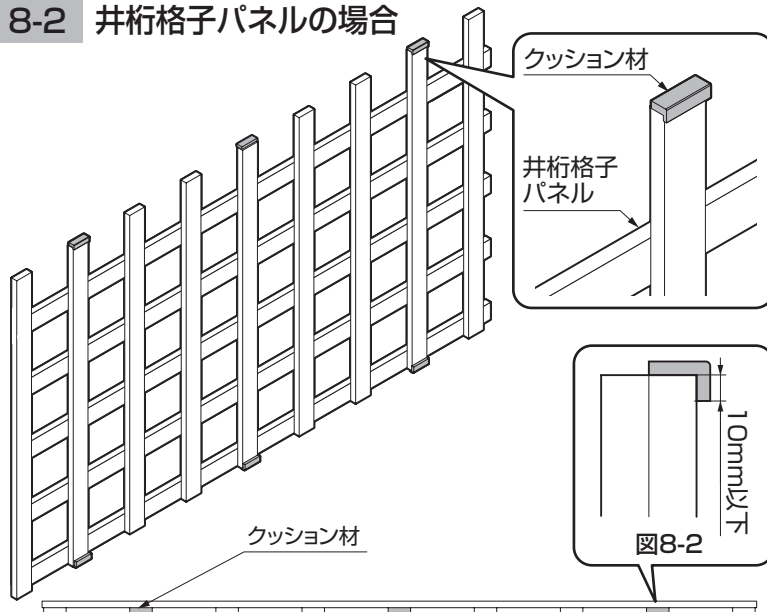
8-1 ラチスパネルの場合



- ①ラチスパネルの両端から約150mm～200mm範囲と中心あたりの小棧に上下6ヶ所、表裏交互に貼り付けてください。
※W750パネルは上下4ヶ所です。

※クッション材を貼り付ける際、外側に折り曲げてください。(図8-1参照)

8-2 井桁格子パネルの場合

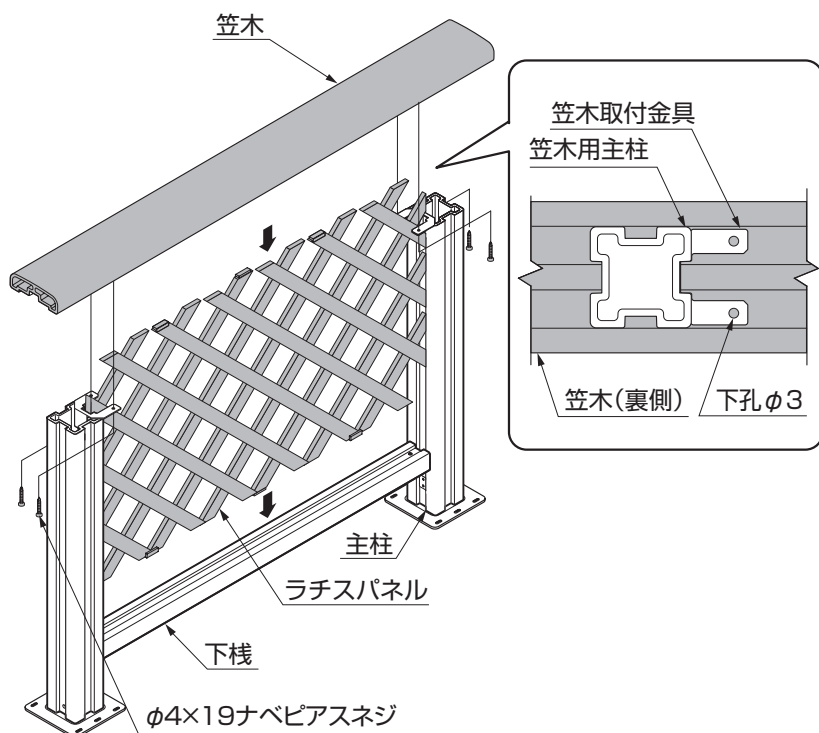


- ①井桁格子パネルの両端から2つめと中心に、上下6ヶ所の縦小棧に貼り付けてください。
※W750パネルは上下4ヶ所です。

※クッション材を貼り付ける際、外側に折り曲げてください。(図8-2参照)

9

ラチスパネルおよび笠木の組付け

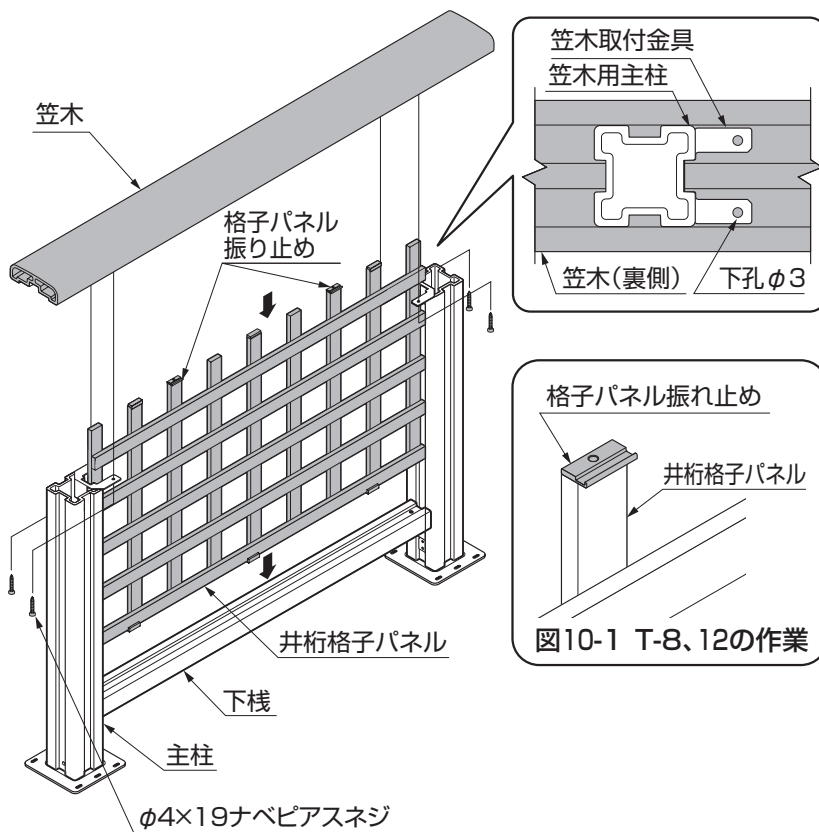


- ①主柱と下棧の溝に、ラチスパネルを挿入してください。
- ②笠木を笠木取付金具にあてがい、笠木取付金具の取付孔にそって笠木に下孔φ3をあけてください。
- ③笠木を笠木取付金具に、φ4×19ナベピアスネジで固定してください。

※笠木の平行および高さを確認して組付けてください。

10

井桁格子パネルおよび笠木の組付け



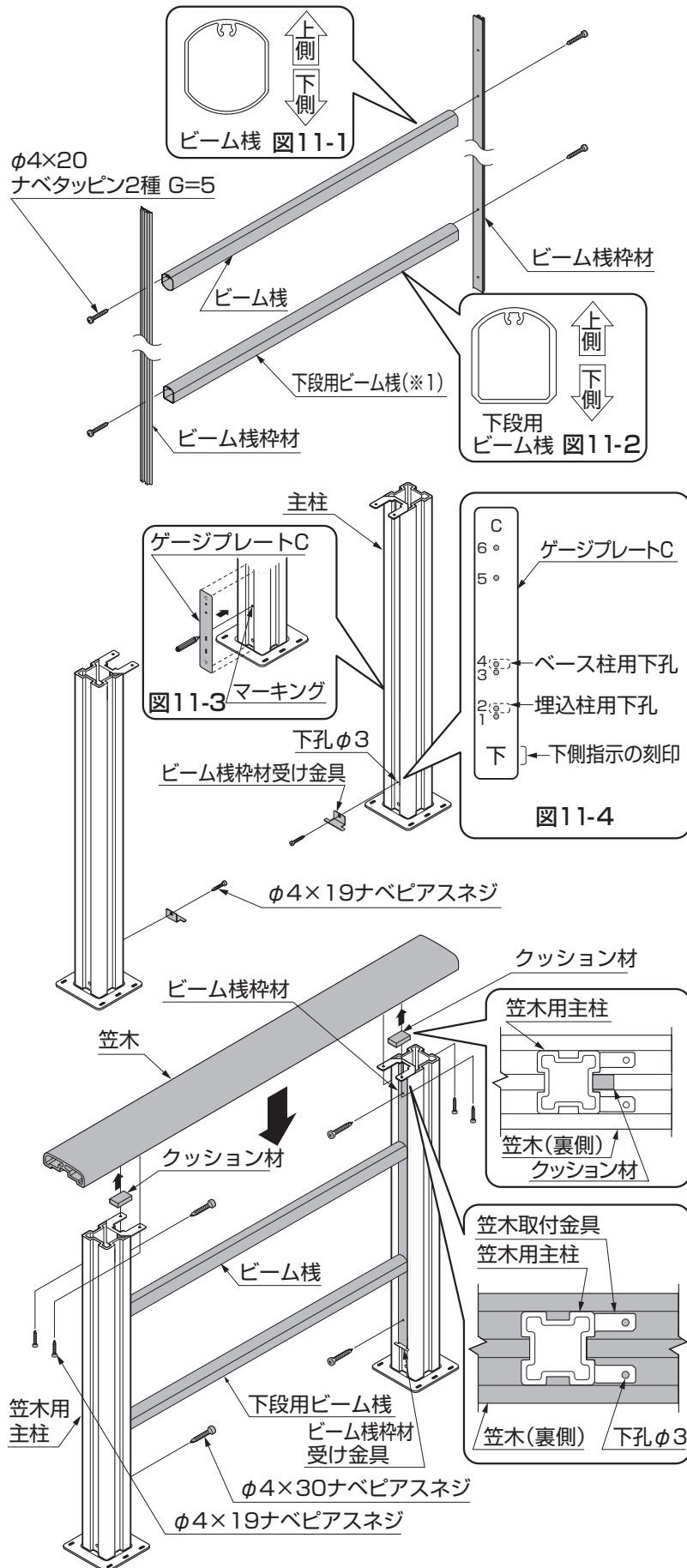
- ①主柱と下棧の溝に、井桁格子パネルを挿入してください。
- ②T-8、T-12の場合、井桁格子パネルの両端から3番目の縦小棧の位置に、格子パネル振り止めを小棧に取付けてください。(図10-1参照)
※W750パネルの場合は、両端より2番目になります。
- ③笠木を笠木取付金具にあてがい、笠木取付金具の取付孔にそって笠木に下孔φ3をあけてください。
- ④笠木を笠木取付金具に、φ4×19ナベピアスネジで固定してください。

※笠木の平行および高さを確認して組付けてください。

図10-1 T-8、12の作業

11

横ビームパネルの組付け



- ①ビーム棧枠材にビーム棧を、φ4×20ナベタッピン2種 G=5で固定してください。
- ②両端から1つ目の加工孔以外へ、ビーム棧および下段用ビーム棧を固定してください。

※サイズによってビーム棧の本数が異なります。
 ※ビーム棧には上下があります。(図11-1、11-2参照)
 ※T-8、T-10の場合、下段用ビーム棧は下側だけに組付けてください。(※1)

- ③パネルを入れる側の面の柱の底面に、ゲージプレートCの下面を合わせてください。(図11-3参照)

※ゲージプレートCには上下があります。
 「下」と刻印してある側を下に合わせてください。(図11-4参照)

- ④印を付けた支柱溝部のネジ位置に、φ3の下孔をあけてください。
- ⑤ビーム棧枠材受け金具の下孔にそって主柱に、φ4×19ナベピアスネジで固定してください。

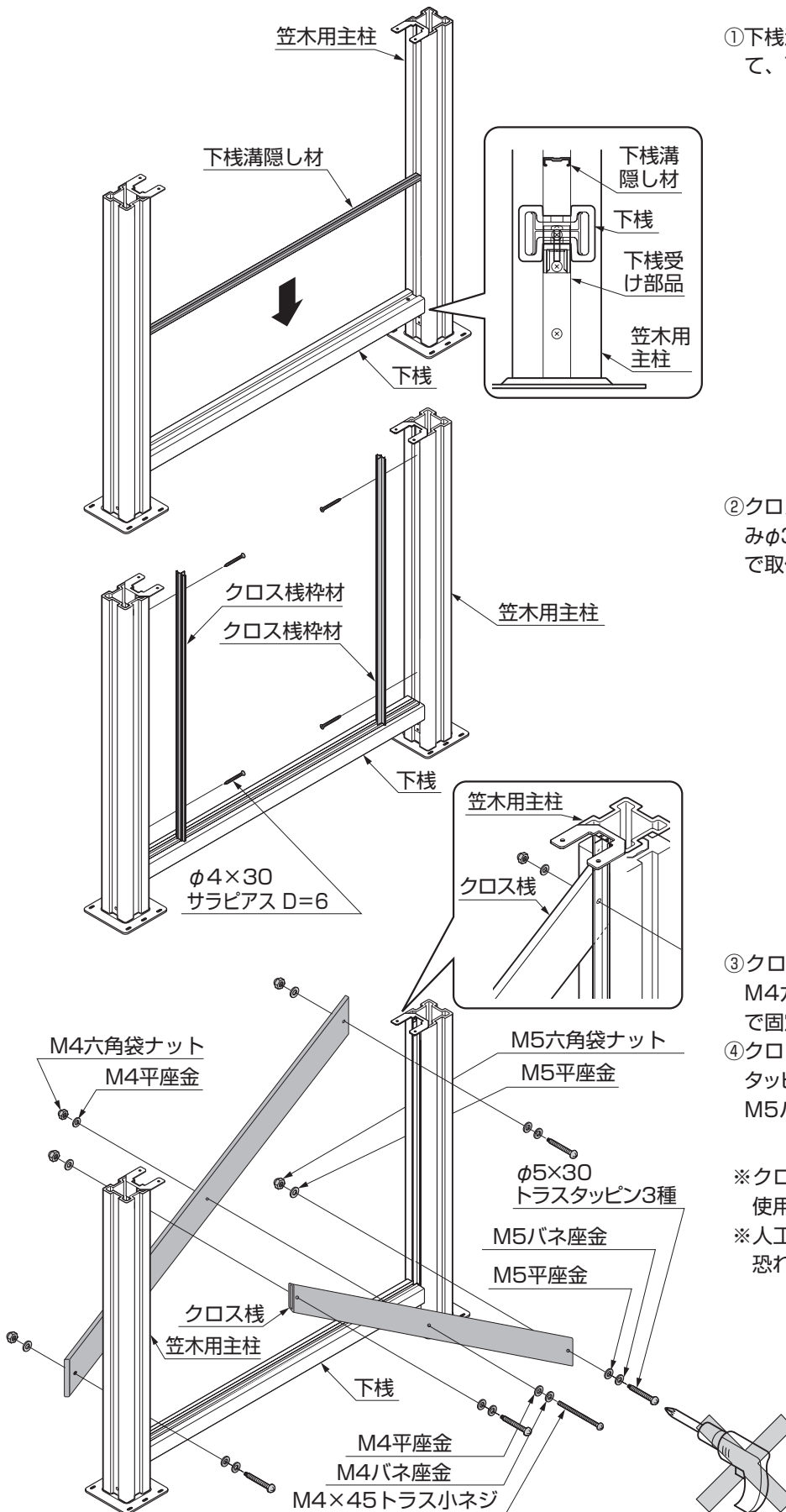
※ベース柱には4の孔を使用してください。埋込柱には2の孔を使用してください。(図11-4参照)

- ⑥笠木の両端の溝にクッション材を貼り付けてください。
- ⑦組付けたビームパネルをスライドさせて取付けてください。
- ⑧笠木を笠木取付金具にあてがい、笠木取付金具の下孔にそって笠木に下孔をあけてください。
- ⑨笠木を笠木取付金具に、φ4×19ナベピアスネジで固定してください。
- ⑩ビーム棧枠材取付ネジ位置に、φ3の下孔をあけ、φ4×30ナベピアスネジで固定してください。

※笠木の平行および高さを確認して組付けてください。

12

クロスパネルの組付け



①下枠溝隠し材を笠木用主柱にスライドさせて、下枠の溝に取付けてください。

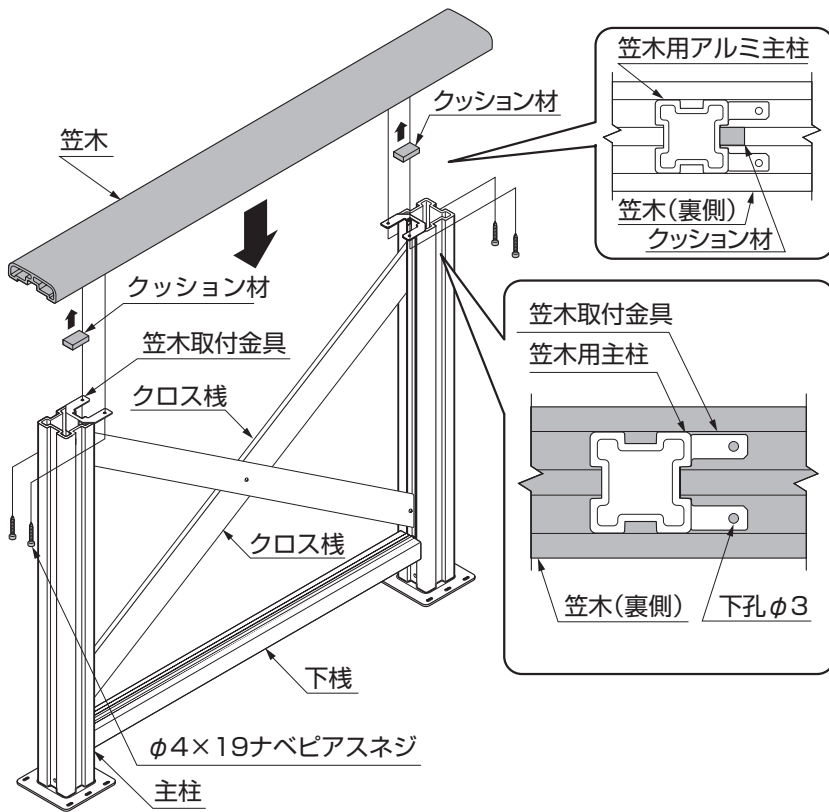
②クロス桟材を笠木用主柱溝部に、下側のみφ3の下孔をあけ、φ4×30サラピラス D=6で取付けてください。

③クロス桟の中心にM4×45トラス小ネジ、M4六角袋ナット、M4平座金、M4バネ座金で固定してください。

④クロス桟材にクロス桟をφ5×30トラスタッピン3種、M5六角袋ナット、M5平座金、M5バネ座金で4ヶ所取付けてください。

※クロス桟の取付けには電動ドライバーを使用しないでください。

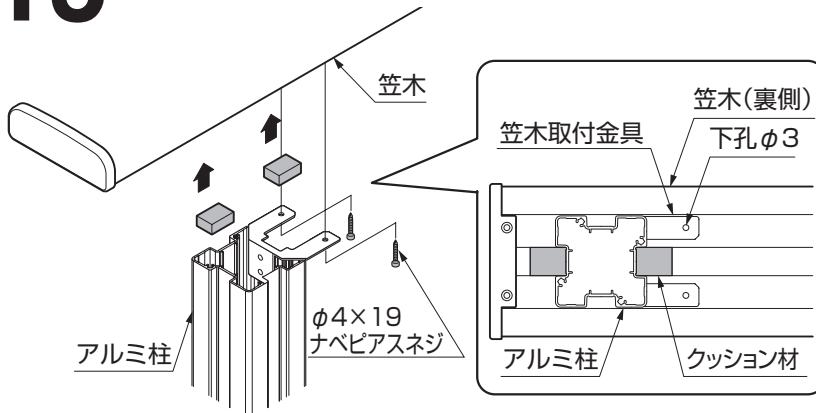
※人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。



- ⑤ 笠木の両端の溝に、クッション材を貼り付けてください。
- ⑥ 笠木を笠木取付金具にあてがい、笠木取付金具の下孔にそって笠木に、φ3の下孔をあけてください。
- ⑦ 笠木を笠木取付金具に、φ4×19ナベピアスネジで固定してください。

※ 笠木の平行および高さを確認して組付けてください。

13 アルミ柱の取付け

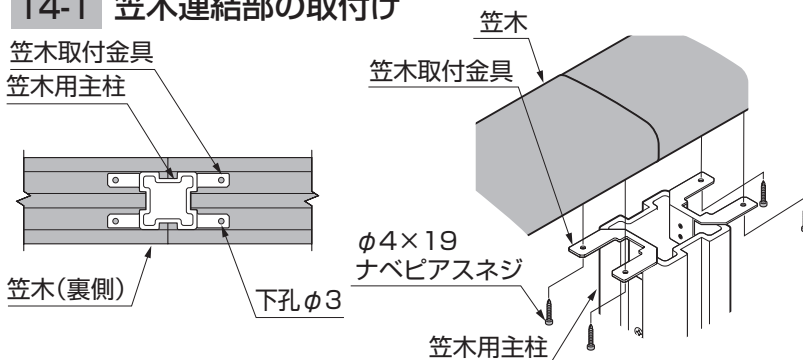


- ① アルミ柱に笠木を取付ける場合、笠木の溝にクッション材を貼り付けてください。
- ② 笠木を笠木取付金具にあてがい、笠木取付金具の下孔にそって、笠木にφ3の下孔をあけてください。
- ③ 笠木を笠木取付金具に、φ4×19ナベピアスネジで固定してください。

※ ラチスパネル(密目、粗目タイプ)以外のパネルには面材側の溝にクッション材を貼り付ける必要はありません。

14 連結部の取付け

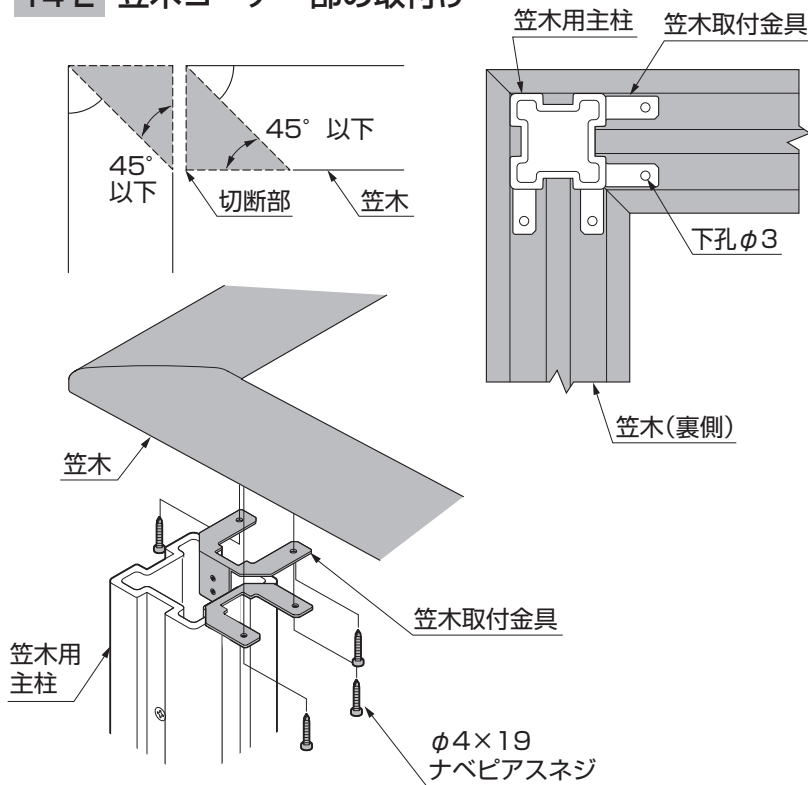
14-1 笠木連結部の取付け



- ① 連結した笠木を笠木取付金具にあてがい、笠木取付金具の下孔にそって、笠木にφ3下孔をあけてください。
- ② 連結した笠木を笠木取付金具にφ4×19ナベピアスネジで固定してください。

※ オプションの笠木中間部カバーを取付ける際は、「17. 笠木中間部カバーの取付け」を参照してください。

14-2 笠木コーナー部の取付け

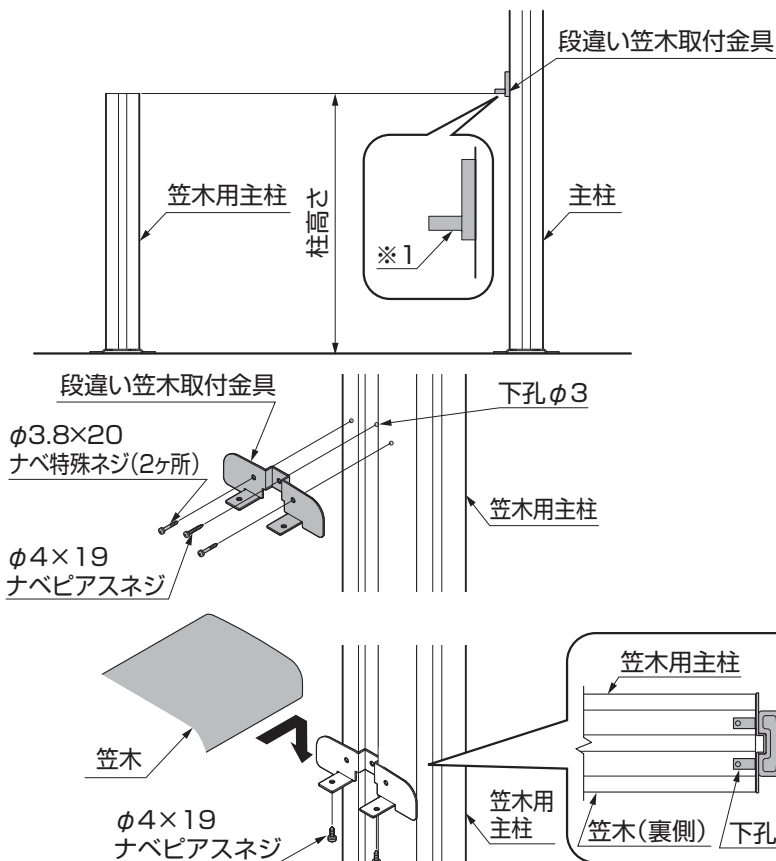


- ① 笠木の加工は、端部を45°カットしてください。
- ② カットした笠木を笠木取付金具にあてがい、笠木取付金具の下孔にそって笠木にφ3の下孔をあけてください。
- ③ 連結した笠木を笠木取付金具に、φ4×19ナベピアスネジで固定してください。

※オプションの笠木90°コーナー部カバーを取付ける際は、「16.笠木90°コーナー部カバーの取付け」を参照してください。

15

段違い笠木取付金具の取付け オプション

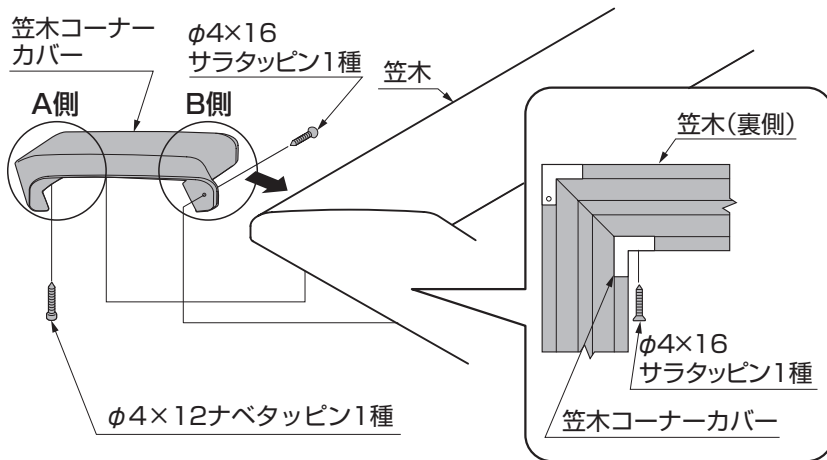


- ① 柱の高さを実測し、段違い笠木取付金具を合わせてφ3の下孔をあけてφ4×19ナベピアスネジで固定してください。

※柱の上面と段違い笠木取付金具の下面(※1)が同じ高さになる様に、取付けてください。

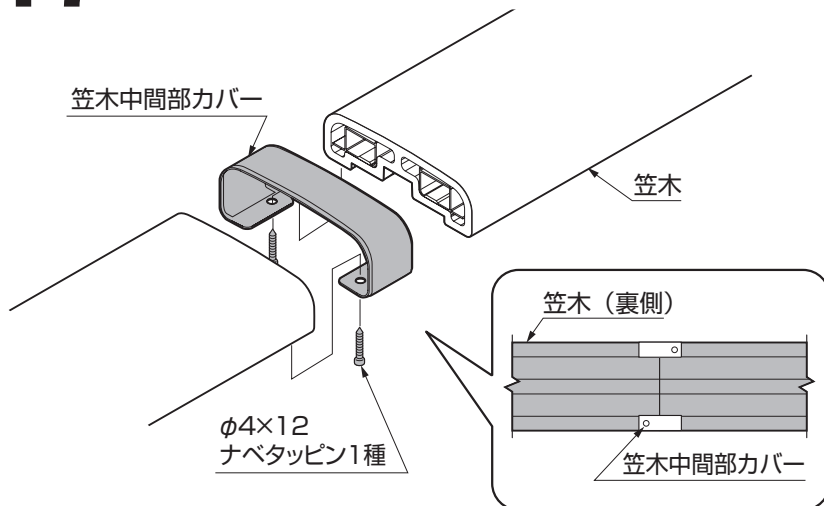
- ② 残りの段違い笠木取付金具の取付孔2ヶ所に、φ3.8×20ナベ特殊ネジ(2ヶ所)で固定してください。
- ③ 笠木を段違い笠木取付金具にあてがい、段違い笠木取付金具の下孔にそって、笠木にφ3の下孔をあけてください。
- ④ 連結する笠木を段違い笠木取付金具に、φ4×19ナベピアスネジで固定してください。

16 笠木90° コーナー部カバーの取付け オプション



- ①カバーのA側を笠木に差込み、中央部を押さえながらB側を上に向けてカバーをはめてください。
- ②笠木コーナーカバーを笠木に、φ4×12ナベタッピン1種、φ4×16サラタッピン1種でカバーを固定してください。

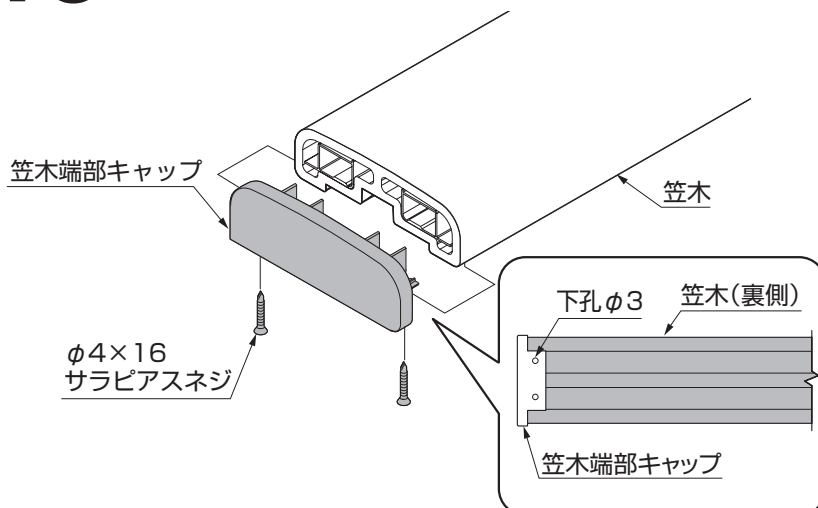
17 笠木中間部カバーの取付け オプション



※必ず、端部キャップを取付ける前にかかじめ差し込んでおいてください。

- ①笠木中間部カバーを笠木端部からはめ込み、取付位置までスライドさせてください。
- ②φ4×12ナベタッピン1種でカバーを固定してください。

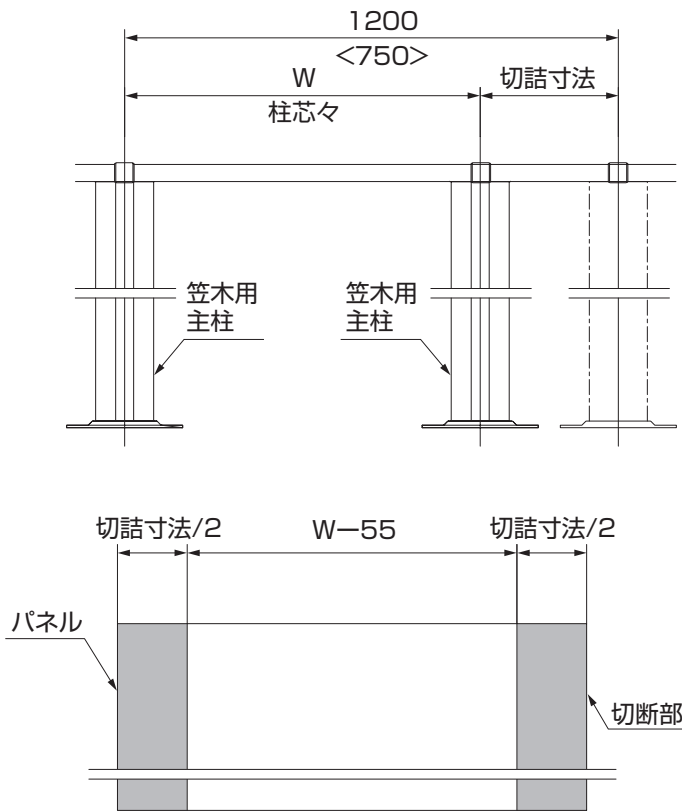
18 笠木端部キャップの組付け



- ①笠木端部キャップをはめ込み、笠木に笠木端部キャップのネジ位置にそって、φ3の下孔をあけてください。
- ②笠木端部キャップを笠木に、φ4×16サラピアスネジでキャップを固定してください。

19

19-1 パネルの幅切詰め



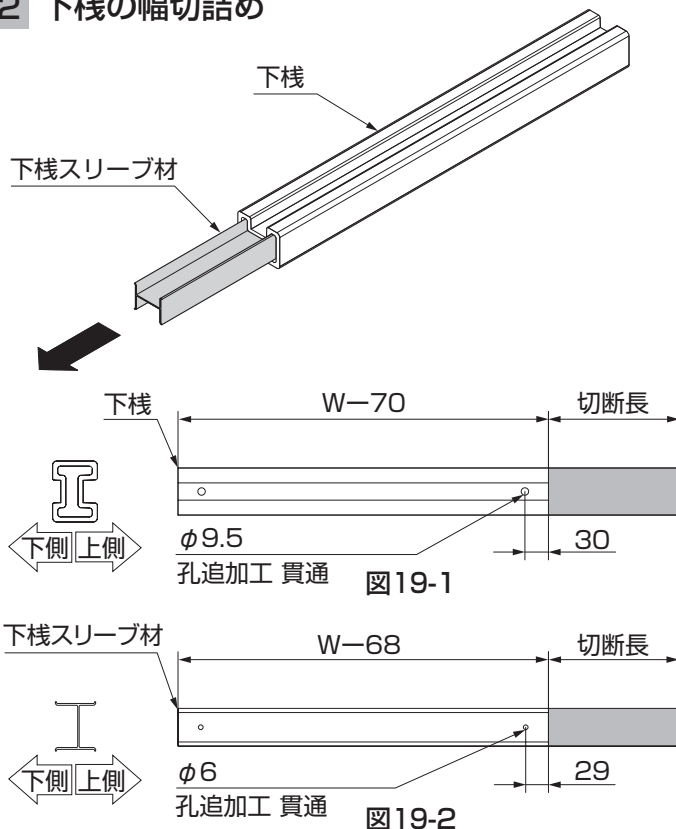
①切詰める寸法の柱ピッチを実測してください。

②パネルを「W-55mm」で両端から同ピッチで切断してください。

※井桁格子パネルの切詰めは以下の通りにしてください。

- ・ W1200 : 138mmピッチ
- ・ W750 : 両端120mm・両端以外138mmピッチ

19-2 下棧の幅切詰め



①下棧を切詰める側の下棧受け金具をはずしてください。

②下棧スリーブ材を取り出してください。

③下棧を「W-70mm」、下棧スリーブ材を「W-68mm」で切断してください。

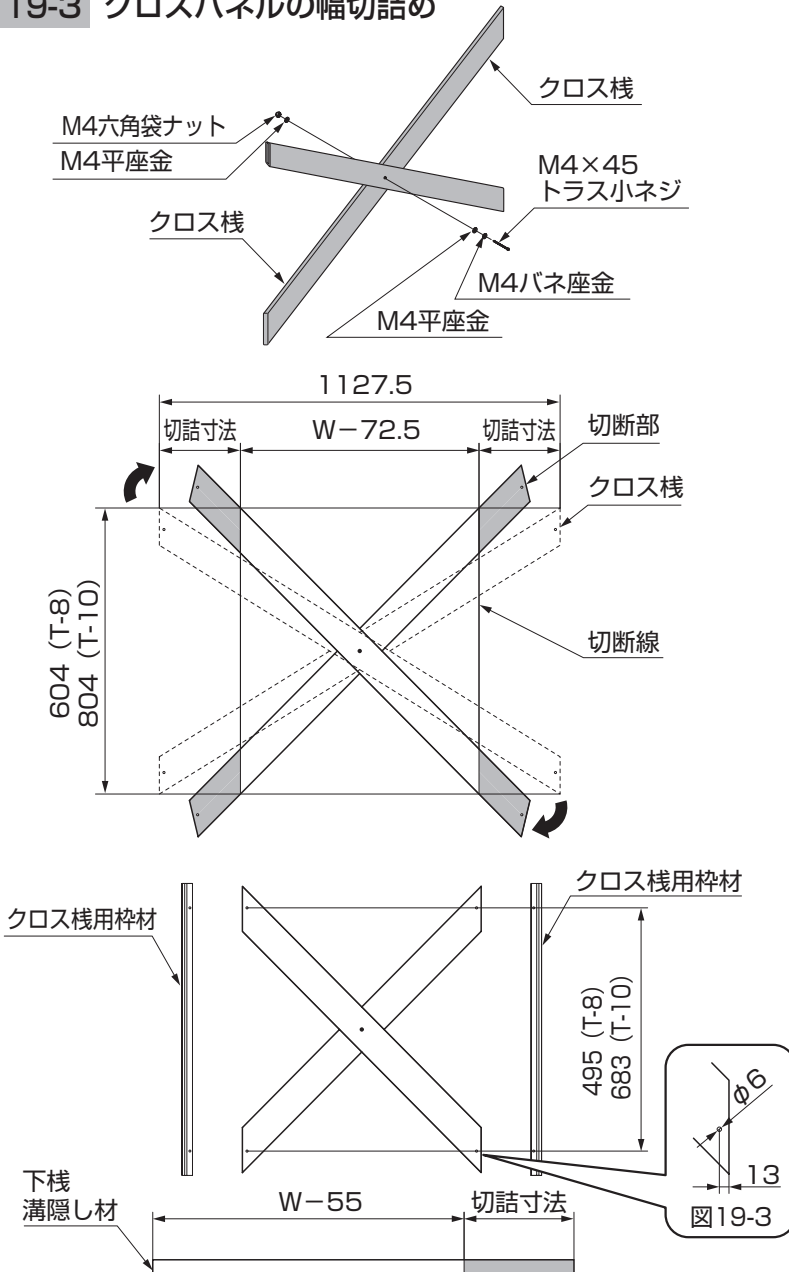
※下棧と下棧スリーブ材の孔は上側から下側まで貫通してあげてください。

④下棧を切断した側から30mmでφ9.5の下孔を貫通してあげてください。(図19-1参照)

⑤下棧スリーブ材を切断した側から29mmのところφ6の下孔をあけてください。(図19-2参照)

⑥加工後、再度組立ててください。

19-3 クロスパネルの幅切詰め



①クロス棧の中心に、M4×45トラス小ネジ、M4六角袋ナット、M4平座金、M4バネ座金を仮止めしてください。

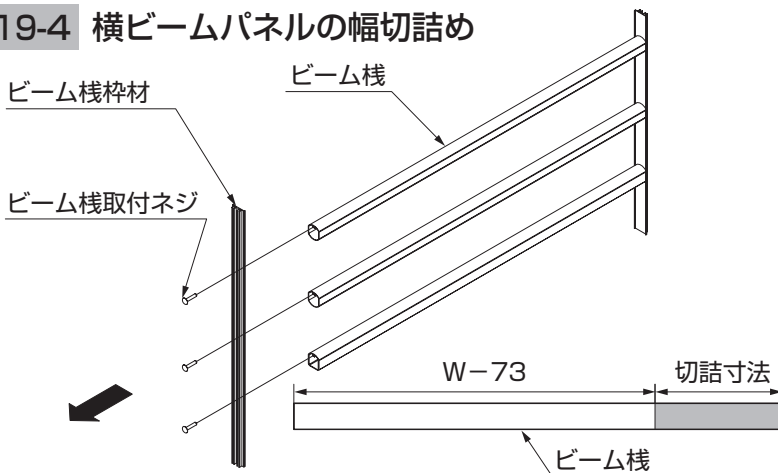
②クロス棧の角度を調整し「W-72.5mm」に応じた全体寸法になるように左右均等切断線を描き、切断してください。

③クロス棧に、φ6の孔をあけてください。(図19-3参照)

④下棧溝隠し材を「W-55mm」に切断してください。

⑤加工後、仮止めたM4×45トラス小ネジ、M4六角袋ナット、M4平座金、M4バネ座金をはずして、「12.クロスパネルの組付け」を参照して柱に取付けてください。

19-4 横ビームパネルの幅切詰め

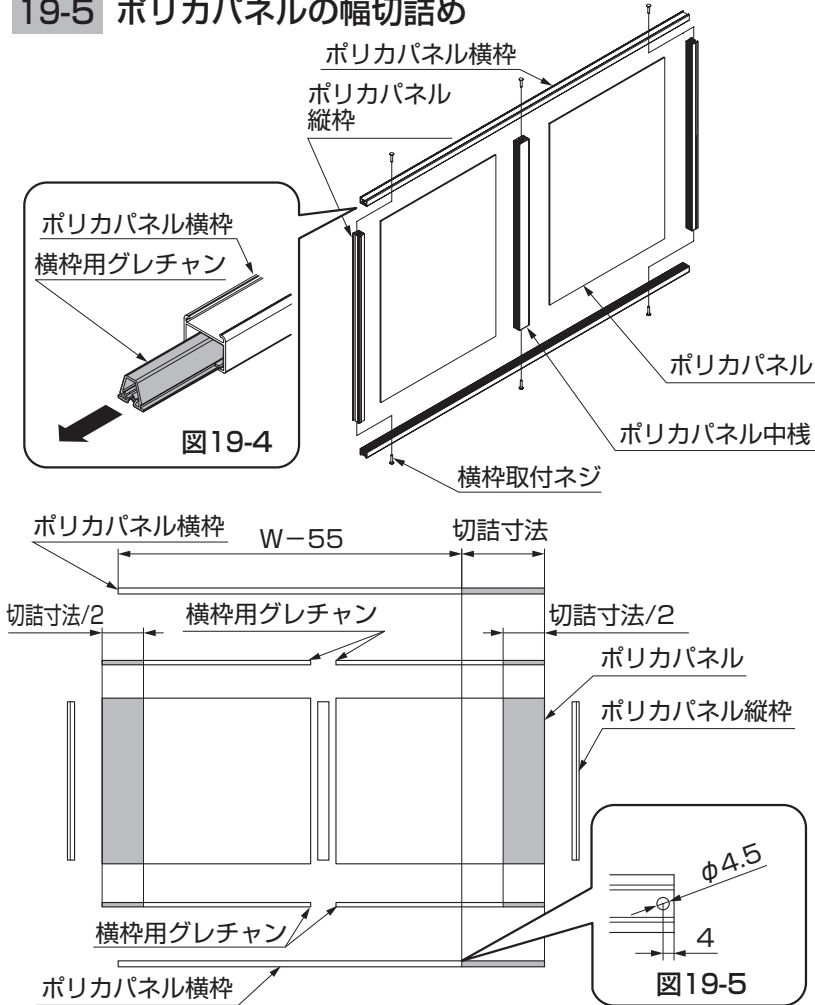


①ビームパネルを切詰める側のビーム棧枠材を取りはずしてください。

②ビーム棧または下段用ビーム棧を「W-73mm」で切断してください。

③加工後、再度組立ててください。

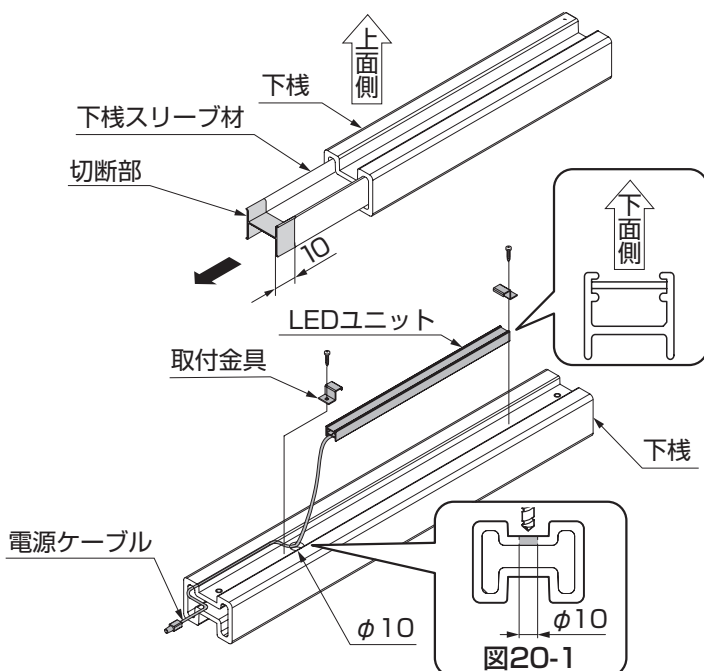
19-5 ポリカパネルの幅切詰め



- ①ポリカパネルを分解してください。
- ②ポリカパネル横枠から横枠用グレチャンを取出してください。(図19-4参照)
- ③ポリカパネル横枠を「W-55mm」で切断してください。
- ④続いて横枠用グレチャン、ポリカパネルを両端から切断してください。
- ⑤ポリカパネル横枠に切断した側から4mmのところからφ4.5の孔をあけてください。(図19-5参照)
- ⑥加工後、再度組立ててください。

20 下棧LED照明ユニットの取付け TOEX

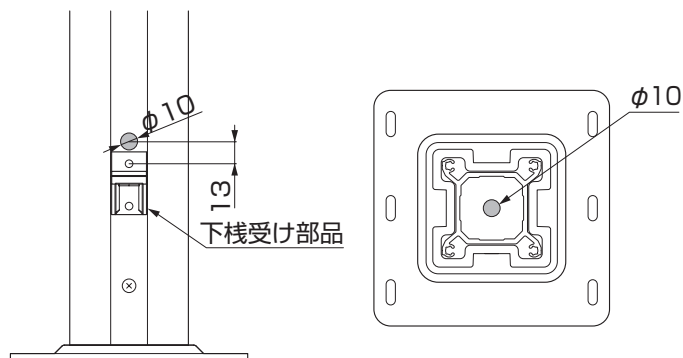
●本製品はTOEX商品で取付け可能です。



- ①下棧スリーブ材を抜き取り、配線を通す側のスリーブ材の端部を10mm切断してください。
- ②LEDユニットを取付ける位置を確認して、下棧の溝にφ10の下孔をあけてください。(図20-1参照)
- ③切断した下棧スリーブ材を下棧に差込み、配線を下棧の内側溝にはうようにしてください。

※下棧スリーブ材を下棧に差込む際、配線に引っかかって、傷つく恐れがあります。強く入れずに慎重に差し込んでください。

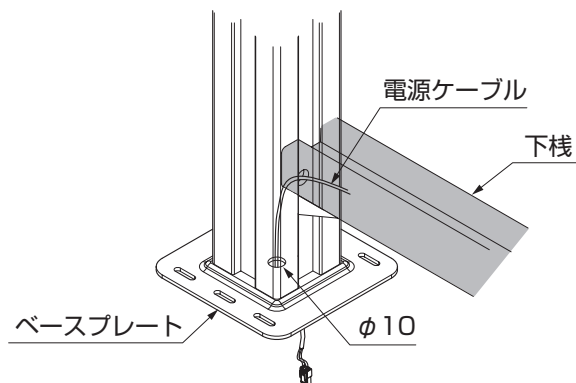
- ④下棧スリーブ材の位置を合わせた後、LEDユニットを下棧に取付金具で固定してください。



⑤ 下棧受け部品の上部取付け孔より13mm上側の位置に、柱と柱スリーブ材へ $\phi 10$ の下孔をあけてください。

⑥ 配線をベースプレートの中心孔まで、傷付けない様に慎重に通してください。

※ あらかじめベースプレートが取付く面の床板に $\phi 10$ の貫通孔をあけてください。

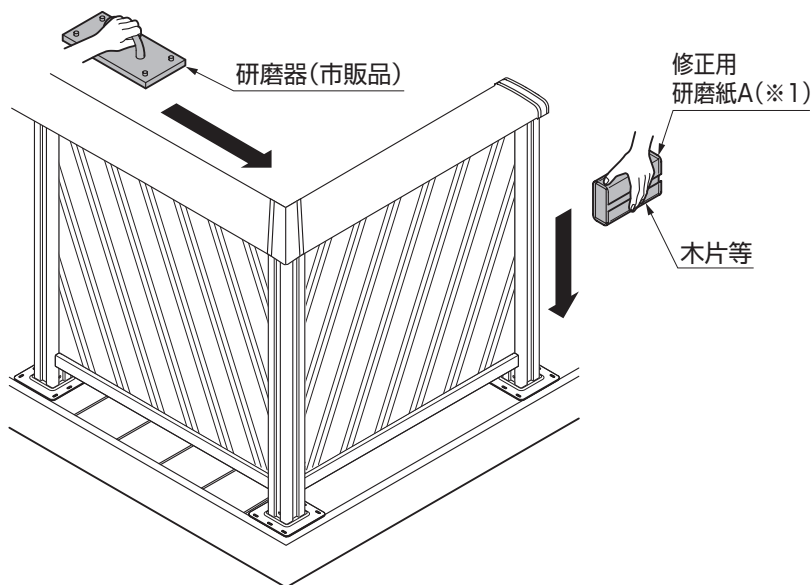


⑦ 下棧を柱に固定してください。

※ 配線方法などの詳細は、「カラーコーピングユニット〈Z217〉」の取付説明書を参照してください。

21

施工後の仕上げ



※ 施工後、表面に付いたすりキズは取付説明書に同梱している研磨紙で補修してください。

※ 1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。

※ 平らな部材を修正用研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)

※ 製品お引き渡しの際は、お客様に研磨紙による補修方法について説明をしてください。

※ 市販の研磨器等（研磨紙を取付ける器具）を使うときれいに仕上げることができます。

※ 市販の研磨紙を利用する際は、60番の研磨紙を使用してください。

MAL-245B
AW53
2008年1月1日発行



トステム株式会社

本社 〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますので承ください。

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています。